

結核性喀痰ノ「ヂアツオ」反應ニ就テ

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/30766

結核性喀痰ノ「デアツオ」反應ニ就テ

名 取 博 三

目 次

一、緒 言	(甲) 急性肺炎
二、検査方法	(乙) 氣管枝加答兒
(イ) 「デアツオ」反應、喀痰ノ稀釋度	(丙) 喘息及其他
(ロ) 卵白ハ「デアツオ」反應ヲ呈セザルヤ又エーレルリヒ氏試薬第二液	(丁) 肺結核疑似症
ハ何「プロセント」ヲ適當トスルヤ	(戊) 肺結核第一期
(ハ) 膿汁及腐敗喀痰ニハ「デアツオ」反應ヲ呈セザルヤ	(己) 肺結核第二、三期
(ニ) 喀痰中ニライス氏反應ヲ呈セザルヤ	(壬) 概 評
(ホ) 概括及注意	四、喀痰ノ「デアツオ」反應ハ喀痰ノ蛋白反應ニ一致セザルヤ
三、實 驗	五、總 括
一、緒 言	六、文 献

肺結核症ヲ早期ニ診斷スル事ノ實地上必要ナルハ言ヲ俟タズ、從ツテ該症早期ノ理學的症候檢出ノ方法ニ就テハ、諸家等シク研究セラレ、諸多ノ検査方法ノ存スルヲ見ル。

其他其早期診斷ノ目的ニハ、或ハ尿ニ就テ、或ハ喀痰ニ就テ種々研究セラレタリ。即チ喀痰ニ就テハ肺結核症ノ診斷ニ、往時重要視セラレタル彈力纖維検査法、ワンネル⁽¹⁾氏蛋白反應、即チ喀痰中ノ凝固蛋白ノ存在ニヨリ、結核性、非結核性ノ鑑別方法トナセリ。

ハルク及テデスコ⁽²⁾の氏ハ喀痰ノ「サルチル酸反應ヲ以テシ又オルフ、アイスネル⁽³⁾の氏ハ喀痰中淋巴球ノ増加ニヨリ、シユメイ⁽⁴⁾氏及リツタ⁽⁵⁾の氏ハピルケ⁽⁶⁾氏皮膚反應陽性ト喀痰中蛋白質ノ存在トニ依リ、エミユリユ⁽⁷⁾の氏ハ喀痰中ノ「チアツオ」反應ノ有無ニヨリ、結核非結核性喀痰ヲ鑑別シ得ルト言ヘリ。

喀痰中結核菌ヲ證明シ得タル場合ニハ、斷定的診斷ヲ下シ得ル如ク、喀痰検査ハ、必要ナルノミナラズ、實地上肺結核症早期理學的症候ノ檢出ハ難事ニシテ、診斷上頗ル困難ナルモノナレバ、若シ喀痰ノ他ノ簡易検査ニヨリ、結核非結核性ナルヲ斷定的ニ診斷シ得ラル、モノアリトセバ理想的診斷方法ト云ハザル可カラズ。又喀痰ノ豫防上ニモ頗ル重要ナルコトナリ。

然ルニ彈力纖維検査法ハ獨リ肺結核症ニノミ檢出シ得ルモノニ非ズ、故ニ結核非結核ヲ鑑別スルハ困難ナリ。

蛋白反應ハワソネル氏ガ定性的ニ喀痰中ノ蛋白検査ヲ行ヒ、慢性氣管枝加答兒ト潜在性結核ノ鑑別困難ナル場合ニ、喀痰中ノ蛋白反應ノ有無ニヨリ鑑別シ得タリト報告セル以來多クノ學者ノ贊成者アリト雖モ、又グドマン⁽⁸⁾の氏ノ如キハ肺結核患者喀痰中ニモ蛋白ノ現出スルモノト、セザルモノトアリ、然ルニ一方非結核性疾患ニアリテモ、蛋白反應ノ陽性ナルモノアリトシテ蛋白反應ヲ以テ結核有無判定ノ根據タラズトシテ之ヲ否定シ、ビルナチ⁽⁹⁾の氏ハ定量的ニ蛋白検査ヲナシ、喀痰中ニ%以上ノ蛋白存在ニヨリ鑑別シ得ルト言ヒ、吉田利一の氏ハ喀痰中○%以上ノ蛋白ヲ含有シ肺炎、肺氣腫、腐敗性氣管枝炎、心臟鬱血、腎臟炎ヲ否定シ得ル時ハ、假令喀痰中結核菌陰性ナルモ之ヲ肺結核症ト診定シテ可ナラント云ヘリ。然レドモ蛋白定量的検査ハ實地上或ハ煩雜タルヲ免レズ、且現今ニテハ實地上早期診斷上ノ一補助方法タルニ過ギズ。

「サルチル酸法ハ検査法稍複雑ニシテ、實地家ニ適セザルガ如シ。

喀痰中ノ淋巴球、所謂淋巴球喀痰ガ早期診斷上、重意義アリトセルモ、此淋巴球増加ハ肺結核初期ニ必發ノ症狀トハ斷シ難ク、若シ結核菌ノ喀痰中ニ出現セザル以前ニ喀痰中淋巴球増加ヲ認ムルガ如キ場合アラバ、肺結核症ノ疑ヲ

置クベキ一症候ト看做シ、早期診斷上ノ參考タルニ過ギズトシ、チイクグラフ⁽⁶⁾氏ハ意義ナシトセリ。

次デエミユリユ⁽⁹⁾氏ノ喀痰中ノ「デアツオ」反應ノ有無ニヨリ結核、非結核ヲ區別シ得ラル、トセバ其方法ノ頗ル簡易ニシテ且又興味アル問題ナルヲ以テ余ハ之ガ追試験ヲ試ミタリ。

抑々エールリヒ⁽¹⁰⁾氏「デアツオ」反應ノ結核患者ノ尿中ニ發現スル場合、重症進行性患者ノ豫後ヲトスルニ關シテハ、諸家ソノ賛否決セザリシガナイス⁽¹¹⁾氏ハ、詳細ナル實驗ニヨリ、該反應ガ不良豫後ヲ決定シ能ハザル場合ニモ發現シ又既ニ進行セルモノニテ、豫後不良ナル場合ニモ屢々發現セザルノ故ヲ以テ豫後ヲトスルノ範圍ニ限リアリトセラレ、尿中ノ「デアツオ」反應ハ又一ツノ參考タルニ過ギズトセリ。

又ワイス⁽¹²⁾氏反應即「ウロクロモ」ゲン「反應ハワイス氏ノ曰ヘル如ク、殆ド「デアツオ」反應ト相比例シテ表ハレ該「ウロクロモ」ゲン「反應ハ「デアツオ」反應ニ代用シ得ルニ足ルコトハ、シユニツテル⁽¹⁴⁾氏等モ確認セラレタリ。從ツテワイス氏反應モ亦「デアツオ」反應ト同様ニ肺結核患者ノ豫後決定ニ資スルモノトシ、ワイス⁽¹²⁾氏始メ諸氏ノ研究報告アリ、岡本省吾⁽¹⁵⁾氏ハ肺結核患者尿中ニテ同時ニ兩反應ヲ檢査セラレワイス氏反應ハ「デアツオ」反應ト相比例シテ發現シ、而モ之ヨリモ鋭敏ニシテ且著明ナリ故ニ臨床上「デアツオ」反應ニ代用シ得ラレ、且結核ノ豫後上參考ニ資スルニ足ルト言ヘリ。

以上ノ如クワイス氏反應及「デアツオ」反應ハ殆ド同時ニ發現シ、又結核患者豫後決定上同一ノ程度ニアルモノナリ。故ニ余ハ喀痰中ノワイス氏反應及「デアツオ」反應ヲ檢スルト同時ニ該患者ノ尿中ノ兩反應ヲ檢シ、喀痰中ト尿中トノ兩反應ノ關係ノ有無ヲモ檢査シタリ。

二、檢査方法

喀痰中ニ「デアツオ」反應ノ存スルヲ報ゼシハ一九一八年「*Journal of Bacteriology*」⁽¹⁶⁾氏ニシテ Emilio Bufalini エミユリ

ユ氏ハ該報告ニ依リ検査シテ曰ク、結核性喀痰中ノ「デアツオ」反應ハ結核菌ノ陰性ニモ拘ハラズ又結核菌ナキ全ク初期ノ場合ニモ陽性ニシテ即チ理學的症狀確ナラザル場合ニ陽性ヲ呈シ、非結核性喀痰ニハ常ニ陰性ヲ呈スト言フ。而シテソノ試験方法ハ五〇立方仙迷ノエールリヒ氏試薬A(五ノ「ズルハアニール」酸、五〇ノ鹽酸、一〇〇〇ノ蒸留水)ト一立方仙迷ノエールリヒ氏試薬B(五〇ノ亞硝酸ナトリウム、一〇〇ノ蒸留水)トヲ混和シ、豫メ殺菌水ヲ以テ、能ク稀釋シタル喀痰液ノ同量ヲ取り、兩液ヲ混和シ、一―二滴ノ「アンモニアク」ヲ加フルナリ。而シテソノ陽性反應ハ赤色調ヲ呈シ、陰性ハ橙黃色ヲ呈ス。サレド普通使用セラル、エールリヒ氏第二試薬ハ亞硝酸ナトリウムノ〇・五%ナルニ反シエミユリユ氏ハ亞硝酸曹達ノ五〇%ヲ使用シタルニアリ。

エールリヒ氏「デアツオ」反應ハ周知ノ方法ニヨリ検査シ、ワイス氏反應即「ウロクロモ―ゲン」反應モ亦一般的ノモノナルモ、余ハ三分ノ一ニ水ヲ以テ稀釋セル尿ヲ、等分ニ二試験管ニ取り其一試験管ニ千倍ノ過滿俺酸カリウム液ノ二―三滴ヲ滴加シ、黄金黃色ヲ呈スルヲ陽性トセリ。該法ハ尿ノ稀釋法或ハ1/2或ハ1/4等アルヲ以テ特ニ記載セリ。

(イ)、「デアツオ」反應ト喀痰ノ稀釋度

喀痰ノ量ノ多少ニ依リテ「デアツオ」反應ノ出現ニ差アルモノナリヤ否ヤ、エミユリユ氏ハ喀痰ヲ唯滅菌水ニテ稀釋シタリシガ其稀釋法明ナラズ。故ニ肺結核患者ニシテ確ニ結核菌ヲ證明セル者ノ喀痰多量ヲ採取シ、喀痰ヲ種々ニ稀釋シ、之ヲ檢シタリ。本検査ニハエールリヒ氏試験管ヲ使用シ、通常尿ノ「デアツオ」反應ヲ検査セルト同様ニ處置シタリ。

井上某結核喀痰ガフキ―氏五―六號ノモノニシテ、試薬第二ハエールリヒ氏ノ記載ノモノニシテ亞硝酸曹達〇五%ノモノナリ。

原著 名取「結核性喀痰」の「チアツオ」反應ニ就テ

喀痰量

稀釋水量

結果

一〇〇	九〇	黃色
二〇〇	八〇	黃色
三〇〇	七〇	稍赤色調
四〇〇	六〇	赤色
五〇〇	五〇	赤色
一〇〇〇	無	赤色

田中某喀痰ガフキ―氏七號ノモノニシテ、試藥第二液ハエミユリユ氏ノ記載ノモノニテ亞硝酸曹達液ハ五〇%ナリ。

喀痰量

稀釋水量

結果

一〇〇	九〇	黃色
二〇〇	八〇	黃色
三〇〇	七〇	稍赤色
四〇〇	五〇	赤色
一〇〇〇	五〇	赤色

健康者(咽頭加答兒)喀痰ニテエ―ルリヒ氏第二試藥ニテ検査セルモノ

喀痰量

稀釋水量

結果

一〇〇	五〇	黃色
二〇〇	五〇	黃色

又健康者ニシテエミユリユ氏第二試藥ニテ

一〇〇

五〇

黃褐色

一〇〇

/

赤色 (透過光線ニハ黃色)

右ニヨリ喀痰量少キ時ハ陰性ナルモ同一痰ニテ多量ナルトキハ、陽性ヲ呈スルヲ見ル。而シテ其稀釋ハ五〇〇五〇ノ割合ヨリ陽性ニシテ而モエ―ルリヒ氏試藥ニアリテハ健康者ト信ズル、即チ非結核性ノモノニテ、濃厚喀痰其儘又

ハ五〇五〇ノ稀釋ニアリテモ陰性ヲ呈スルヲ見ル故ニ喀痰ノ稀釋ハ水ト同量又ハ尙以上濃厚ニ喀痰ヲ取ルヲ適當ト
思考ス。

而シテ此ノ陽性タル赤色調ハエーリヒ氏第二試藥、エミユリユ氏ノ第二試藥トヲ使用スル場合ハソノ著シク差異
アルヲ認ムルモノナリ。エーリヒ氏法ニアリテハ赤色調アルモ薄ク、エミユリユ氏法ニアリテハ赤色調著シク濃厚
ナリ。エーリヒ氏法ニヨル赤色ハエミユリユ氏法ノ稀釋水七〇喀痰三〇位ニ表ハル、赤色ニ一致ス。

又喀痰ノ種類、即チ稀薄ナルカ濃厚ナルカニヨリテ勿論差異ヲ生ジ又肺炎痰及結核痰トニ就テ其ノ赤色調發現ヲ比
較セルニ、肺炎痰一〇〇即チ痰ソノマ、ニテ發現スル赤色調ハ、結核痰三〇水七〇ノ稀釋ニ現ハル、赤色調ニ等シ
キ様ナルモ尙肺炎痰ノ方、赤色調少キヲ認ムルコトアリ。

肺炎痰及夏期十六時間放置シタル氣管枝加答兒患者ヨリ採取セル喀痰ノ「デアツオ」反應ヲ呈スルモノ各ヲ稀釋シテ
檢スルニ一〇—二〇水、九〇—八〇喀痰ニテハ陽性反應ナク、却ツテ五〇五〇或ハ濃厚ノマ、ニテ檢査スルトキ
ハ全ク赤色調ヲ呈スルヲ見ル。

況ンヤ肺結核初期喀痰ハ泡沫様粘稠硝子様ニシテ殆ド唾液ニ類スル如キモノアリ。更ニ進ンデ二—三ノ米粒狀物ヲ
混ズルモノ、次ニ帶黃線條物ヤ同色斑ヲ混ズルモノ更ニ進行セルモノハ喀痰全部溷濁シテ同質性黃色或ハ濃様ヲ呈ス
ルモノ等アルガ故ニ其ノ稀釋タルヤ充分ノ注意ヲ要スベキナリ。故ニ余ハ初期ノ喀痰ニアリテハ喀痰ソノマ、末期
ノ濃厚ナルモノニアリテハ等分或ハソレ以上ノ濃厚ニ水ヲ加ヘテ檢査セリ。

又喀痰ハ多量ニ喀出スルモノニアラザルガ故ニ常ニエーリヒ氏試驗管ヲ使用スル能ハザルコト多シ。喀痰ノ量ニ
應ジ適當ニ餘リ稀釋セザルヲ宜トス。三—五〇瓦アレバ充分ナリ。

(ロ、卵白ハ「デアツオ」反應ヲ呈セザルヤ又エーリヒ氏試藥

第二液ハ何「プロセント」ヲ適當トスルヤ

喀痰ノ稀釋ノ程度ニヨリ「チアツオ」反應ノ陰性ナルコトアリ又喀痰ノ性状ニヨリテ、陽性反應アルモノノ赤色ニ強弱アルハ前述シタリ。而シテ「チアツオ」反應ノ本態不明ナリト雖スベト⁽¹⁰⁾氏ハ「オキシプロテイン」ノ存在スルニヨリ又ブリアン⁽¹¹⁾氏ハ尿中「プリン」基ノ増加スルニヨリ勝山⁽¹²⁾氏モ「グアニン」「ヒポキサンチン」等ノ「プリン」基ガ「チアツオ」反應ヲ呈スルナリトシ、即チ或ハ蛋白崩解產物或ハ「ヌクレン」含有組織ノ崩解ニ起因スルトシ何レモ蛋白ノ崩解ノ結果ニ他ナラズ、又ノイパウエル⁽¹³⁾氏ハ純化學的ニ普通アル如ク、「チアツオ」反應ガ純「チアツオペンツール」ズルホン酸ト不揮發「アルカリ」類トニテ表ハル、ナレバ凡テ「プリン」基、「ヒスチヂン」、蛋白、糖、「アセト醋酸、膽汁色素モ「チアツオ」反應ヲ表ハシ能フ物體ナリト云ヘルガ如シ。故ニ「チアツオ」反應ハ蛋白質ニ起因セルモノト、セザルベカラズ。蛋白質ガ該反應ヲ呈スル本源ナリトセバ喀痰中ニハ多量ノ蛋白質アリ。故ニ喀痰中ニ「チアツオ」反應アリトセバ該反應ハ或ハ喀痰中ニ蛋白ノ存在スル爲ニ生ズルモノナラザルヤヲ疑ハザルヲ得ズ。故ニ余ハ卵白ニ就テ「チアツオ」反應ヲ呈スルヤ否ヤヲ検査セリ。

又第二試藥タル亞硝酸曹達ノ「プロセント」ニヨリ陽性反應ニ強弱ノ差アルコトモ前述セリ。エミユリユ氏ハ喀痰中ノ「チアツオ」反應ヲ檢スルニ特ニ第二液ヲ五〇%トナシタルモ既ニエールリヒ氏ガ尿中ノ該反應ヲ報告セシ以來、ベトリ⁽¹⁴⁾氏ハ五%ノ亞硝酸曹達液五〇%ヲ第一液一〇〇%ニ加ヘ即チエールリヒ氏第二試藥(〇・五%)ヨリ約二十五倍トナシ検査セルニ、健康尿ニモ陽性反應ヲ呈シ誤マレル結果ヲ生ジタリトシ又ゲルハルト⁽¹⁵⁾氏ハ二十倍ニテ、ベルデ⁽¹⁶⁾氏ハ十倍ニテ検査シタリシモ何レモ誤リ易キヲ以テエールリヒ氏ノ記載ヲ適當ナリト言フ。故ニ喀痰中ノ検査ニアリテモ第二液ノ%ハ何%ヲ適當トスルヤ等ニ就キ検査セリ。即チ卵白液ヲ検査物トシテ第二液ノ〇・五%、五〇%、五〇%ヲ使用シテ左ノ検査ヲナセリ。該検査ニハエールリヒ氏試験管ヲ用ヒタリ。

(1)、〇・五%ノ第二液ニテ

卵白ノ量

稀釋水ノ量

結 果

(II)、五%ノ第二液ニテ

一〇〇	九〇	美黄色
二〇〇	八〇	美黄色
五〇〇	五〇	美黄色
一〇〇〇		同(稍濃)

(III)、五〇%ノ第二液ニテ

一〇〇	九〇	美黄色
二〇〇	八〇	深黄色
五〇〇	五〇	同(赤調アリ)
一〇〇〇		赤色調アリ

上述ノ如ク卵白ニテエミユリユ氏法ヲ行フモ卵白ハ赤色ヲ呈ス故ニ喀痰中ノ赤色調ノ如何ニヨリ喀痰ノ結核性ナリヤ否ヤヲ断定スルハ困難ナリト思考セラル。

又五%ノ第二液ニアリテハ稀釋五〇—五〇ノモノ以上ニアリテハ赤色ヲ呈ス。然レドモ透過光線ニテ之ヲ檢スレバ明ニ黄色調アリ。故ニ鑑別シ得ルト雖實際上明ニ區別シ難キコトアリ。之ニ反シテエ—ルリヒ氏記載ノ第一—二液ニテハ卵白ニ反應ナキヲ以テ該法ニテ喀痰ニ反應アリタル場合ニハ、之ヲ陽性トナシ得ルト信ズ。

余ハ更ニ「アンモニヤ」水ノ滴加量ノ多少ニヨリ反應出現ニ差異ヲ見タルガ故ニエ—ルリヒ氏試験管ニヨラズエミユリユ氏記載ノ如ク第一液五〇〇〇第二液一〇〇ノ混和液ヲ喀痰液ト同量ニ取り之ニ「アンモニヤ」水ノ二—三滴ヲ滴加シ

(344) テ検査スル場合「アンモニヤ」水ノ滴加量ハ如何ト言フニ
五%ノ第二液ニテ

卵白量	稀釋水量	アンモニヤ滴加數	結果
一〇〇	九〇	二—五滴	結果
一〇〇	九〇	六—八滴	黃色
一〇〇	九〇	二—五滴	深黃色
二〇〇	八〇	六滴以上	黃色
二〇〇	八〇	二—四滴	赤色
三〇〇	七〇	五滴以上	黃色調
三〇〇	七〇	四滴以上	赤色
五〇〇	五〇	五滴以上	黃色
五〇〇	五〇	四滴以上	赤色
一〇〇〇	五〇	五滴以上	黃色
一〇〇〇	五〇	四滴以上	赤色
一〇〇〇	九〇	二—三滴	黃色
一〇〇〇	九〇	六—八滴	赤色調 (透過光線ニテ黃色調)
一〇〇〇	八〇	二—滴	黃色
二〇〇〇	八〇	三滴以上	赤色
三〇〇〇	七〇	二—滴	黃色
三〇〇〇	七〇	三滴以上	赤色
五〇〇〇	五〇	二—滴	黃色
五〇〇〇	五〇	三滴以上	赤色
一〇〇〇〇	五〇	二—滴	黃色
一〇〇〇〇	五〇	三滴以上	赤色

以上ニヨリ五%ノ亞硝酸曹達液ヲ第二液トシテ使用スル場合ニアリテハ蛋白一〇、水九〇ノ場合ニハ「アンモニヤ」水滴加量ニ關係ナク黄色ナリ。(但シ十滴以上深黄色ヲ呈スルモ赤色調ナシ)。

其他ノ濃度ニ於テハ五滴マデ黄色、六滴以上ヲ滴加スルトキハ赤色調ヲ帶ブルニ至ル。然レドモ五〇%ノ亞硝酸曹達液ヲ第二液トナス場合ヨリ赤色調薄ク黄色調遙ニ強シ。

五〇%ノ亞硝酸曹達液ヲ第二液トシテ使用スル時即エミユリユ氏ノ記載ノ如ク検査スルニ卵白一〇、水九〇ノ稀釋ニ於テ「アンモニヤ」水ノ滴加量三滴ノ時、黄色其他ノ濃度ニ於テハ二滴ニテ黄色ヲ呈シ「アンモニヤ」水滴加三滴以上ナレバ常ニ赤色調ヲ呈ス。而モ美赤色ニシテ反射光線透過光線ニ赤色ナリ(但シ一〇、九〇ノ稀釋ノモノニテハ透過光線ニハ黄色調アリ)。

故ニ喀痰等ノ如ク有機性物質多キモノ、検査ニハエミユリユ氏ノ試験法ニアリテハ「アンモニヤ」水ノ滴加量過剩ノ場合ニハ赤色ヲ呈スルニアラザルヤヲ疑ハシム。從ツテソノ鑑別ニモ困難ナルヲ保シ難シ。故ニ却ツテ本検査ヲ施行スルニハ五%ノ亞硝酸曹達液ヲ第二液トスルカ又ハエールリヒ氏法ヲ使用スルヲ適當ナリト思ハシム。

故ニ更ニ健康者ト信ズルモノ、喀痰或ハ鼻汁及結核性喀痰トヲ比較検査シタルニ左ノ如シ。
五%ノ亞硝酸曹達液ヲ使用シ

検査材料	稀釋法	アンモニヤ滴加數	結果
某男鼻汁	等分	二滴	黄色
(同濃厚ノモノ)		四滴	赤色調
某女鼻汁	等分	二滴以上	黄色
某男喀痰	等分	二—九滴	共ニ黄色
某男喀痰	等分	二—四滴	共ニ黄色
結核喀痰	等分	二滴	黄色
(二期)		三滴	赤色

原著 名取 結核性嗜痰ノ「アツオ」反應ニ就テ

結核嗜痰 (快方患者)	等分	二—二滴	黃色
氣管枝炎嗜痰	等分	九滴	赤色
		四滴	黃色
		數滴	赤色調

五〇%ノ亞硝酸曹達液ヲ使用シテ

鼻汁 (濃厚ノモノ)	等分	二滴	黃色
		六滴	赤色調
		九滴	赤色

嗜痰 等分

嗜痰 等分

結核性嗜痰 等分

結核性嗜痰 等分

氣管枝炎嗜痰 等分

氣管枝炎嗜痰 等分

二滴	六滴	九滴	二滴	二滴	四滴	二滴	數滴	二滴	二滴	四滴以上	二滴	四滴	二滴	四滴	二滴	四滴	二滴	四滴	二滴	四滴
黃色	赤色調	赤色	黃色	赤色調	赤色	黃色	赤色調	赤色	黃色	赤色	黃色	赤色	黃色	赤色	黃色	赤色	黃色	赤色	黃色	赤色

以上エ—ルリヒ氏試驗管ニ依ラズ。検査物ヲ水ニテ等分ニ稀シテ「アンモニヤ」水ノ滴加數ニヨリ反應ノ發現如何ヲ檢シタルニ、「アンモニヤ」水ノ滴加數少キトキハ反應ナク多キニ從ヒテ反應ヲ呈スルヲ見ル。而シテ五%ノ亞硝酸曹達液ニテハ、三滴以上ニテ初メテ赤色調ヲ見タルモ五〇%ノ亞硝酸曹達液ニテハ二滴以上ニテ赤色調ヲ呈スルヲ見ル。

而シテ五%ノモノニテハ數滴ニ至ルモ黃色ナルニ反シ、五〇%ニアリテハ大抵四滴ニテ赤色反應アリ。而モ美赤色ヲ呈ス。五%ノモノニアリテハ透過光線ニハ尙黃色調明カナルコトアリ、而シテ又結核性喀痰ニアリテハ確ニ赤色調ニシテ他ト鑑別シ得ラル。然レドモ五%ノモノト五〇%ノモノトノ赤色調ハ五〇%ノモノ、方強ク赤色ヲ呈ス。

斯ノ如ク五〇%ノモノハ赤色反應陽性ノ場合ニハ明ニ反應スルト雖健康痰又ハ鼻汁等ニモ赤色調ヲ表ハシ勿論反射光線ニシテ透過光線ニテハ黃色調アリ。故ニ鑑別シ得ルト言フモ實地上非常ニ誤リ易クレバ「アンモニヤ」水滴加數多キ時ハ五〇%ノ亞硝酸曹達液ヲ使用スルハ不適當ナリト思ハル。故ニエミユリユ氏法ニ依ルヨリモ、却ツテ五%ノ亞硝酸曹達液又ハエールリヒ氏法ニヨルヲ適當ナリト思考セララル。

(ハ)、膿汁及腐敗喀痰ニハ「デアツオ」反應ヲ呈セザルヤ

膿汁殊ニ結核性骨「カリエス」等ノ膿汁ニハ「デアツオ」反應ヲ呈セザルヤ又「デアツオ」反應ガ腐敗尿ニ發現スルトセバ喀痰ノ如キ腐敗シ易キモノニハ該反應ヲ呈スルニアラザルヤ否ヲ検査シタルニ(材料ノ稀釋ハ材料ト水ト等分、試薬ハエールリヒ氏試薬ニ依ル)

(A)、筋炎ノ膿汁

検査時候	採取後ノ日數	結果
七月	直チニ	黃色(僅ニ赤色調)

一	日	赤色
二	日	稍赤色

(B)、脊椎カリエス膿汁

七月	四、五時間	赤色
一	日	赤色

(C)、骨髓炎膿汁(混血セルモノ)

二	日	赤色
三	日	赤色
五	日	黄色
六	日	黄色

七月	一	日	黄色
	二	日	不明

(D)、横痃膿汁(混血甚ダシ)

八月	直チニ	稍赤色
	膿汁(稀釋セザル)	全ク赤色

(E)、血清

八月

一日 血清ノミニテモ ナシ

(F)、卵白

六月(及十一月)直チニ

卵白ノミ 濃黄色
一日 黄色
二日 赤色調
四日、五日、六日 赤色調

(G)、鼻汁

九月

直チニ 黄色
五時間 稍赤色
十八時間 同
三十六時間 赤色

同

六月

直チニ 黄色
一日 黄色

(H)、喀痰(氣管枝加答兒)

八月

三日 黄色
五日 赤色調
五時間半 黄色

喀痰(咽頭加答兒後ノ濃厚)

直チニ 黄色
八時間 稍赤色調
二十四時間 赤色

喀痰(塊狀膿樣痰)

七月 十六時間 赤色
喀痰ノマ、 美赤色

喀痰

十一月 直チニ 黄色

十二月、一月 一日 黄色

以上検査ニヨリ「カリエス」膿汁、筋炎膿汁、横痃膿汁ニハ「チアツオ」反應ヲ認メ、骨髓(膜)炎ノ膿汁ニハ陰性ノモノ、如シ。血清及卵白ノ新鮮ノモノニハ陰性ナリ(近時骨髓炎膿汁ニテ陽性ヲ檢セリ)。然レドモ時日ヲ經過シタルモノニテハ夏期ニ於テハ陽性反應ヲ呈ス。「カリエス」膿汁ノ採集後五六日ニハ消失シタルモ他ハ悉ク陽性ヲ呈ス。氣管枝加答兒喀痰ノ如キ夏期ニ於テ喀出直後ノモノニ陰性ヲ呈スルヲ見ル。即チ膿汁横痃、カリエス、筋炎)ハ初メヨリ

陽性ヲ呈ス。

卵白、鼻汁(冬期ヲ省ク)喀痰ハ放置スルニ從ヒ殊ニ夏期ニアリテハ陽性反應ヲ呈ス、故ニ喀痰ヲ喀出後放置スルハ不可ナリ。直チニ檢スルヲ適當トス、之レ夏期ニ於テ喀痰等ノ腐敗スル爲ナリト思考セラル。

(ニ)、喀痰中ニワイス氏反應ヲ呈セザルヤ

前述セル如ク、尿中ニ「チアツオ」反應陽性ノ場合ニハソレト相比例シテワイス氏反應モ尿中ニ現ハル、ヲ見ル。依ツテ喀痰ニ「チアツオ」反應アル場合ニハ喀痰中ニ亦ワイス氏反應ヲ呈セザルヤ思ヒ喀痰中ノワイス氏反應ヲ検査シタリ。

先ヅ喀痰中ノ有機物質ヲ除去スル目的ヲ以テウーレンフート氏ノ「アンチホルミン」法ヲ施ス。即ローレンツ氏ノ言ヘル如ク喀痰ニ一〇—一五%ノ比ニ「アンチホルミン」液ヲ加ヘ、ヨク振盪シ全ク同質様ニナリタル液中ニテ該反應ヲ試ミタリ。

結核菌ヲ確ニ證明シ得タル喀痰ニテ「アンチホルミン」ニ依リ殆ド蛋白光色ヲ呈スル同液ニ過滿俺酸加里液ヲ滴加シタルニ、黄色ヲ呈シ陽性ト信ジタルモ、健康者痰、肺炎痰ニ就テ同様検査シタリシニ稍時間的差異ヲ認ムルモ同ジク黄色ヲ呈シ、鑑別スルコト能ハザリキ。依テ余ハ豫メ尿ニ就キワイス氏反應ヲ呈スルモノニ「アンチホルミン」ヲ加ヘ、更ニ充分煮沸シテ、該反應ヲ檢スルモ、該反應ニ變化ナカリシヲ以テ、喀痰ヲ「アンチホルミン」ニテ處置シ更ニ充分煮沸シ比較的充分有機性物質ヲ消化セシメタル液ニテ該反應ヲ試ミタリ。

結核性痰ニ過滿俺酸加里液ヲ滴加シタルニ、直チニ黄色ヲ呈シ陽性ナルヲ認メタルニ反シ非結核性喀痰ト信ジタルモノニアリテハ、淡紫赤色ヲ呈シ陰性ナルヲ認メタリ、然レドモ非結核性痰ニアリテモ著シク濃厚ナルモノヲ檢スルニ之亦黄色ヲ呈ス。又直チニ黄色ヲ呈セザルモノ十分乃至二十分後ニハ黄色ヲ呈スルヲ見ル、從ヒテ煮沸法ニ依リテモ時間的差異アルノミニテ黄色ヲ呈ストセバ鑑別ニ困難ニシテワイス氏反應ヲ呈スルモノナリヤ否ヤモ斷定スル能ハザ

ルヲ見ル。

原著 名取ニ結核性喀痰ノ「デアツオ」反應ニ就テ

— 四四 —

尙咽頭加答兒後ノ濃厚喀痰、急性肺炎痰、結核性痰等ニテ比較的ニ検査スルモ結核痰ニテ一分内外ニテ反應スルヲ見、其他ノ喀痰ニテハ十分乃至二十分後ニ反應アリトスルモ、同様ノ黄色ヲ呈スルニ依リ尙有機性物質ノ消化充分ナラザルタメ過滿俺酸加里ノ如キ、酸化劑ノ滴加ニヨリ酸化セラル、タメナルベシ、依テ充分ナル有機性物質ノ消化ヲナスノ方法ニ依ルニアラザレバワイス氏反應ハ喀痰中ニアリテハ不適當ナリト思考シ遂ニ検査ヲ中止シ、從ヒテ表中ニモ之ヲ削除セリ。

(ホ)、概括及注意

以上ニヨリ余ハ喀痰中ノ「デアツオ」反應ヲ検査スルニハ喀痰ノ稀釋ハ水ト等分或ハヨリ濃厚ニ稀釋スルノ適當ナルヲ知レリ。

第二液タル亞硝酸曹達液ハエミユリユ氏ノ五〇%ヨリハ五%又ハエールリヒ氏ノ〇五%ヲ使用スルヲ宜トス。而シテ「アンモニヤ」水ノ滴加量ハ八分ノ一量又ハ五點以上ヲ滴加シテ検査スル方明ニ鑑別シ得ラル。

反應ノ程度ハ五%ノ第二液ニアリテ其陽性ハ必ラズ赤色又ハ赤色調アルヲ要ス。而モ透過光線、反射光線共ニ赤色ヲ呈スベシ。

陰性ニアリテハ黄色調ニシテ、尙深黄色或ハ少シク褐色ヲ帶ブル黄色ニシテ透過光線ニハ黄色調アルモノトス。〇五%ノ第二液ニアリテハ陽性反應ハ赤色調アルカ或ハ深黄色又ハ飴色ヲ呈スルモノトシ、陰性ハ美黄色ヲ呈スルモノトス。

然レドモンノ境界甚シク不明ノコトアリテハ鑑別頗ル困難ナルモノナリ、且尿中ノ「デアツオ」反應ト異ナリ泡沫ハ多ク黄色ニシテ赤色ヲ呈スルハ極メテ稀ナリ、只ソノ全液ノ黄色ナリヤ赤色ナリヤヲ検査スルニ外ナラズ。

試薬ト検査物トヲ温和シタル時ニ振盪ス可カラズ、然ルトキハ「アンモニヤ」水ヲ添加スル時赤色ノ陽性反應ヲ呈ス

レバナリ。余ハ新鮮ナル卵白ヲ等分ニ水ニテ稀釋シ或ハ卵白自身ニ試藥ノ混和液ヲ加ヘ、振盪シタリシニ「アンモニヤ」水ヲ加ヘテ赤色ヲ呈スルヲ見タリ、故ニ「アンモニヤ」水ヲ加ヘル以前ニ振盪スベカラズ。夏期ニ検査物ヲ放置スルコト久シケレバ又陽性反應ヲ呈スルガ故ニ検査ハ可成採取後早期ニ検査スルヲ要ス。

濃汁ニ該反應陽性ナルコトアルニ依リ喀痰中膿汁ヲ混和セバ陽性ノ結果ヲ得可シ。

實際上、喀痰ノ排泄少量ナル患者ニアリテハ喀痰ノ少量ナルタメ陰性ニ終ルコトアリ、故ニ余ハ前述セル如ク多量ノ唾液ヲ混ズル場合ニハ之ヲ稀釋セズ、又稀釋ハ等分或ハヨリ濃厚ニ薄メ得タル喀痰量ト同量ノ豫メ普通使用スル「デアツオ」試験管ニ普通ノ如ク第二液及第一液ヲ混合シタル液ヲ加ヘ「アンモニヤ」水ノ約十滴位ヲ滴加シ振盪シ後検査シタリ。

第二液ハエーリヒ氏第二液可ナルモ、五%ノ亞硝酸曹達液ヲ使用スル方著明ナルコト多シ。

尿中ノ「デアツオ」反應ハエーリヒ氏ノ記載ノ如ク又エーリヒ氏ノ試験管ニテ検査セリ。

ワイス氏反應ハ尿ニ就テノミ検査シ喀痰中ニハ有機性物質アリ、其消化法ノ適當法ナカリシ故喀痰中ニテハ検査セザリキ。

結核菌検査ハ普通塗沫標本ヲ作り、チール、ガベット氏兩液ニテ各二分以上染色シ油浸装置ニテ鏡檢シ、ガッフキ氏表ヲ以テ表ハセリ。而シテ結核症疑ハシク、喀痰中結核菌ヲ證明シ得ザリシ場合ニハ出來得ル限り再三採痰シハゼロット氏ノ「アンチホルミン」、リグロイン」ヲ以テ檢シ又ハウーレンフト氏ノ「アンチホルミン」ニテ處置シ遠心器ニカケ検査シ傍ラ動物試験ヲ試ミタリ。

三、實 驗

甲、急性肺炎

原 著 名取リ結核性喀痰ノ「デアツオ」反應ニ就テ

原著 名取リ結核性咳嗽ノ「チアツオ」反應ニ就テ

姓名	職業	年齢	部	位	發熱	病日	性狀	痰	尿	中
北吉、女	友仙	二四	右下葉	妊娠ハケ月中ニテ 分娩ス	三十九度五分	四日	鑑色	—	—	—
青木、男	友仙	一五	左下葉		三十九度	五日	鑑色及 黄色	稍+	+	+
堀田、男	通勤	五一	左右下葉後		三十九度	四日 (八日 目死亡)	膿模 鑑色及	+	—	+
堀井、男	學生	一七	右下葉		三十九度	五日	鑑色	+	+	+
同					三十八度五分	六日	同	?	?	+
同					三十九度	四日	鑑色	+	?	+
森井、男	鹿ノ子 絞	五〇	右下葉		三十九度	四日	鑑色	稍+	少々	+
杉山、男	無	一五	左下葉		三十九度五分	三日	鑑色	+	+	+
同					分利三六度三 分レミザンニテ	一日	同	+	+	+
澤田、女	金物妻	二九	左下葉		四十九度	二日	鑑色	+	+	+
同					同	三日	同	+	+	+
同					同	二日	同	+	+	+
同					分利後	直ニ	稍鑑色 白色	稍+	+	+
佐野某、男		四一	右下葉		三十九度	三日	同	+	+	+
同					三十九度二分	三日	鑑色及 黄色	—	—	+
杉山某、男	友仙	二二	右上葉		三十九度五分	四日	鑑色	—	+	+
竹内某、男	無職	一七	左下葉		三十九度五分	四日	鑑色	—	+	+

原著 名取ニ結核性咳嗽ノ「チアツオ」反應ニ就テ

姓名	職業	年齢	病名、経過	發熱	性狀	痰中	尿中
淺保	運送業	四二	體格、榮養中、兩側氣管枝炎、二週間ニテ治ス	三十八度	灰白色	—	—
田留	友仙	四七	體格、榮養稍不良、一週間前ヨリ咳嗽喀痰アリ倦怠甚シ、四週間位ニテ快方	初メ三十九度 三十七度八分	淡黄色 アル水様	十	—
森金	巡查	二四	體格、榮養中、一週間前ヨリ咳嗽喀痰アリ、水泡音ヲ聽ク、三週間位ニテ快方	三十八度	灰白色	—	—
柴瀨	石工	二八	體格大、榮養中、咳嗽喀痰アリ一ヶ月位ニテ治ス	三十七度五分	灰白色 粘稠	—	—
庄彦	巡查	二六	體格、榮養中、一週間前ヨリ咳嗽喀痰アリ三週間位ニテ快方	三十八度二分	帶黄灰 白色粘稠	十	—
青某	友仙	二四	體格、榮養中、一週間前ヨリ咳嗽喀痰、二週間位ニテ快方ニ向フ	三十八度	灰白色	—	—
小藏	教員	二九	體格中、皮色蒼白、二日前ヨリ發熱ス吹笛音及水泡音アリ四五日ニテ治ス	三十九度	塊狀膿色 痰(少シク古)	十	—
藤某	米	二五	氣管枝カタル		汚帶黄 白色塊	—	—
山正	吳服	三〇	體格、榮養稍長、吹笛音、水泡音アリ一週間前發熱二三週間ニテ治セリ	三十八度四分	汚灰白 色粘稠	稍十	—
万正	悉皆	三三	體格、榮養中、胸部ニ吹笛音アリ二日前ヨリ發熱ス一週間位ニテ治ス	三十九度ニ至ル	混血 ル灰白	—	—
辻千	雜貨女	二八	體格、榮養中、四五日前ヨリ咳嗽喀痰アリ、一週間位ニテ治ス	初メ四十度 三十八度九分	灰白色 泡沫アル痰	—	—

乙、氣管枝加答兒

同					五日	—	十
吉水、男	僧侶	七二	左下葉	三十九度	四日血痰	—	不 明

原著 名取り結核性喀痰ノ「チアツオ」反應ニ就テ

一四八一

姓名	職業	年齢	病名	経過	發熱	喀痰性状	チアツオ反應	結核菌動物試驗	尿中チアツオ反應	ワイス氏反應
姓名 山、春	職業 張物	年齢 一八	病名 體格、榮養中、幼時ヨリ咳嗽喀痰ニ苦シム右後部ニ水泡音アリ、喀血スルコトアリ	経過 慢性咳嗽喀痰	發熱 無 三十七度四分 至ルコトアリ	性状 膿樣汚黄色	チアツオ反應 十	結核菌動物試驗 一	尿中チアツオ反應 一	ワイス氏反應 一
姓名 北、ヨ	職業 學女	年齢 八	病名 體格中、榮養稍不具、咳嗽喀痰、倦怠アリ一ヶ月間位ニテ全治ス	経過 體格中、榮養稍不具、咳嗽喀痰、倦怠アリ一ヶ月間位ニテ全治ス	發熱 三十八度二分	性状 帶黄灰白色	チアツオ反應 一	結核菌動物試驗 一	尿中チアツオ反應 一	ワイス氏反應 一
姓名 近、太	職業 農	年齢 三八	病名 體格、榮養中、胸部ニ吹笛音アリ、治療セズシテ治ス	経過 體格、榮養中、胸部ニ吹笛音アリ、治療セズシテ治ス	發熱 三十七度五分	性状 汚灰白色	チアツオ反應 一	結核菌動物試驗 一	尿中チアツオ反應 一	ワイス氏反應 一
姓名 増、新	職業 染物	年齢 一八	病名 體格、榮養中、時々咳嗽喀痰アリ、兩側氣管枝炎	経過 體格、榮養中、時々咳嗽喀痰アリ、兩側氣管枝炎	發熱 三十八度二分	性状 汚灰白色	チアツオ反應 一	結核菌動物試驗 一	尿中チアツオ反應 一	ワイス氏反應 一
姓名 永、松	職業 魚商	年齢 五二	病名 體格、榮養中、感冒ノ氣味ニテ胸痛アリ、咳嗽喀痰アリ、一ヶ月間治セズ後不明	経過 體格、榮養中、感冒ノ氣味ニテ胸痛アリ、咳嗽喀痰アリ、一ヶ月間治セズ後不明	發熱 三十八度三分	性状 膿樣ノ痰	チアツオ反應 一	結核菌動物試驗 一	尿中チアツオ反應 一	ワイス氏反應 一
姓名 吉、い	職業 張場	年齢 七〇	病名 體格、榮養良、感冒ニ罹リ氣管枝加答兒トナリ一回、全治再發シ左右肺ニ水泡音アリ全經過一ヶ月ニテ治ス	経過 體格、榮養良、感冒ニ罹リ氣管枝加答兒トナリ一回、全治再發シ左右肺ニ水泡音アリ全經過一ヶ月ニテ治ス	發熱 三十八度八分 四十度ニ至ル	性状 灰白色	チアツオ反應 一	結核菌動物試驗 一	尿中チアツオ反應 一	ワイス氏反應 一
姓名 井、彦	職業 巡查	年齢 二九	病名 體格、榮養中、皮色蒼白、四五年前ヨリ一年中ニ二三回、發熱アリ、年中咳嗽喀痰アリ、兩側ニ水泡音アリ	経過 體格、榮養中、皮色蒼白、四五年前ヨリ一年中ニ二三回、發熱アリ、年中咳嗽喀痰アリ、兩側ニ水泡音アリ	發熱 三十八度位	性状 帶黄灰白色粘稠	チアツオ反應 十	結核菌動物試驗 一	尿中チアツオ反應 一	ワイス氏反應 一
姓名 長、市	職業 (從事農セズ)	年齢 五六	病名 體格、榮養中、一週間前ヨリ感冒ニ罹リ吹笛音アリ、直ニ治ス	経過 體格、榮養中、一週間前ヨリ感冒ニ罹リ吹笛音アリ、直ニ治ス	發熱 三十八度一分	性状 灰白色	チアツオ反應 一	結核菌動物試驗 一	尿中チアツオ反應 一	ワイス氏反應 一
姓名 藤、正	職業 友仙	年齢 一八	病名 體格、榮養中、感冒ニ罹リ、胸部水泡音、吹笛音アリ、二週間全治	経過 體格、榮養中、感冒ニ罹リ、胸部水泡音、吹笛音アリ、二週間全治	發熱 三十八度位	性状 汚灰白色粘稠	チアツオ反應 一	結核菌動物試驗 一	尿中チアツオ反應 一	ワイス氏反應 一
姓名 篠、義	職業 友仙	年齢 二〇	病名 體格、榮養中、兩側ニ水泡音アリ三週間ニテ快方	経過 體格、榮養中、兩側ニ水泡音アリ三週間ニテ快方	發熱 三十八度四分	性状 惡臭アル汚灰白色	チアツオ反應 一	結核菌動物試驗 一	尿中チアツオ反應 一	ワイス氏反應 一
姓名 内、よ	職業 友族	年齢 二四	病名 體格、榮養中、兩側ニ水泡音アリ三週間ニテ快方	経過 體格、榮養中、兩側ニ水泡音アリ三週間ニテ快方	發熱 三十八度四分	性状 惡臭アル汚灰白色	チアツオ反應 一	結核菌動物試驗 一	尿中チアツオ反應 一	ワイス氏反應 一

丙、喘 息

姓名	職業	年齢	病名	發熱	性狀	チアツオ反應	尿中チアツオ反應	ワイス氏反應
源、無	職業 無	年齢 七四	病名 喘息 十年前(氣管枝炎)	發熱 三十八度	性狀 帶黄灰白色粘稠	チアツオ反應 一	尿中チアツオ反應 一	ワイス氏反應 一

原著 名取「結核性咳嗽」の「ゲアツ」反應ニ就テ

姓名	年齢	病名	等	發熱	性状	咯痰ノ ゲアツ 反應	尿中ノ ゲアツ 反應	ワイス 氏反應
雄、平	蠟燭	四五	同	無	淡黄色	+	—	—
中、政	道具	六〇	同	無	帶黄灰 白色	—	—	—
市、ス	無	四六	同	無	帶黄色	—	—	—
栢、義	友仙	五〇	同	三十七度	汚灰白 色粘稠	—	—	—
西、誠		四六	同	三十七度三分	黄色塊 アル粘 稠	結核菌	—	—
長、市	魚商	五二	同	有ル時アリ 無キ時アリ	汚灰白 色	—	—	—
八、安	日稼	五八	同	三十七度二分	泡沫ア ル黄色 粘稠	—	—	—
自、分	三八	咯痰		無	灰白色	—	—	—
同		少シク濃厚痰		無	帶黄灰 白色	—	—	—
川、チ	二六	咯痰		無	膿灰白色	—	—	—
某		鼻汁		無	白帶黄灰	—	—	—
某		感冒後ノ濃厚鼻汁		無	同	+	—	—
下、雄	五四	心臟病性咯痰		三十七度	血色痰	—	—	—

其他

雄、平	蠟燭	四五	同	無	淡黄色	+	—	—
中、政	道具	六〇	同	無	帶黄灰 白色	—	—	—
市、ス	無	四六	同	無	帶黄色	—	—	—
栢、義	友仙	五〇	同	三十七度	汚灰白 色粘稠	—	—	—
西、誠		四六	同	三十七度三分	黄色塊 アル粘 稠	結核菌	—	—
長、市	魚商	五二	同	有ル時アリ 無キ時アリ	汚灰白 色	—	—	—
八、安	日稼	五八	同	三十七度二分	泡沫ア ル黄色 粘稠	—	—	—

原著 名取リ結核性哮喘ノ「チアツオ」反應ニ就テ

姓名	年齢	病名	等	發熱	性狀	哮喘ノ	尿中ノ
姓名 淺、良	六	百日咳		無	汚灰白 色粘稠	チアツ オ反應	チアツ オ反應
姓名 吉、稔	六	同		無	同	チアツ オ反應	チアツ オ反應
姓名 某、小兒	一〇	鼻汁		無	同	チアツ オ反應	チアツ オ反應
姓名 服、菊	八	麻疹		三十九度	汚灰白 色	十	十
姓名 石、健	一九	扁桃腺炎		三十八度二分	灰白色	一	一
姓名 上、松	三五	時々哮喘アリ咽頭炎		三十九度	帶黃灰 白色	十	一
姓名 太、サ	二六	急性喉頭炎		三十八度	汚灰白 色粘稠	一	一
姓名 杉、一	三	百日咳、肺炎		三十八度五分	灰白色	一	一

丁、肺結核疑似症

姓名	年齢	既往症及一般状態	肺ノ状態	哮喘ノ性状	發熱	轉機	哮喘中	尿中
姓名 武、定	三六	體格中等稍蒼白、時々神經衰弱ニ罹リ胸内苦悶アリ、突然發熱咳嗽哮喘アリ	特ニ變化ナク類射音ヲ聽ク	血線ヲ混ズル汚黃色葛様ノモノ	三十九度五分	治、健	チアツ オ反應	チアツ オ反應
姓名 小、學	二四	生來強健ナラズ肺炎加答兒ニ罹リシト云フ、感冒ニ罹リ突然發熱咳嗽哮喘アリ、全身倦怠アリ體格中	右肩胛骨下部ニ氣管枝音ヲ聽ク又小水泡音アリ	時々血痰ヲ混ズ、黃白色餅様	三十八度一四十分度	二一三週ニテ治ス	チアツ オ反應	チアツ オ反應
姓名 荒、巡査家族	三二	體格大ニ著シク蒼白、生來健全、一ヶ月前發燒シ其後感冒アリ振盪頻數	左右前後面ニ無數ノ小水泡音ヲ聽ク心臓衰弱症アリ	淡汚黃色痰(少シ古シ)血線アリ	三十六度三分	一ヶ月位ニテ治ス	チアツ オ反應	チアツ オ反應

赤、 下繪職工 成	柴、 石新 二二	庄、 巡査 三二五	五、 畫武 三三五	大、 友仙 三三〇	森、 畫貞 二二四	万、 正 三五	中、 女學生 一七	三、 通勤家族 三三三	太、 農家族 三三二	山、 建築業家族 四〇	藤、 小間物 三三五	三、 無職女 二二七
著患ナシ食血ス、時々咳嗽喀痰アリ	生來健全一週間前ヨリ感冒ニ咳嗽喀痰アリ、身体瘦削ス	體格、榮養中、一週間前咳嗽喀痰アリ	體格弱、榮養不其蒼白、家族ニ肺患アリ	體格大、榮養良鎖骨々折シ時々血痰アリト云フ	體格、榮養中、元氣ナシ風邪ノ氣味嗜血アリシト云フ	體格中、榮養稍不其、突然熱發アリ、血痰アリシト云フ、家族ニ肺患アリ	體格、榮養中等、感冒ニ罹リ易ク身體疲勞ス	數年前肺炎カタル診斷ヲ受ク爾後身體肥滿セズ、感冒ニ罹リ易ク直ニ氣管枝炎ニ移行シ胸痛アリ	二三年前肋膜炎ニ罹リ二ヶ月前分娩シ多發性神經炎ニ罹リ歩行、起立不能トナリ發熱ス、咳嗽喀痰、體格中、榮養不其ナルモ顔色良ナリ	時々發熱シ咳嗽喀痰胸内苦悶ナリ、體格、榮養中皮色蒼白生來健全、體格大、榮養良、感冒ノ氣味アリ家族ニ結核アリ	體格、榮養中、家族ニ結核アリ	肩癖アリ、體格、榮養中等
特ニ變化ナシ	特ニ變化ナシ	氣管枝炎音ヲ聴ク	變化ヲ認メズ	著變ナシ	右肺炎呼吸氣延長アリ	變化ヲ認メズ	右肺炎呼吸氣延長	右或ハ左ノ後下部ニ水泡音ヲ聽クコトアリ	左側滲出性肋膜炎	左右胸部ニ大小水泡音アリ	著變ナシ	同
淡黄色粘液様水様	汚黄色痰粘液様(古シ)	黄灰白色膿様粘稠痰	稠汚灰白色粘	汚帶黄灰白	汚灰白色泡沫アルモノ	混血セル塵芥アル灰白	淡黄灰白色	灰白色粘稠様	黄色泡沫アル粘稠痰	汚灰白色軟化セルモノ	汚灰白色	淡黄汚灰白
三十六度五分	三十七度一	三十七度八分	三十六度五分	三十六度四分	三十六度六分	三十九度	三十七度二分	無	三十七度六分	三十八度三十九度	三十六度二分	三十六度三分
別ニ變化ナシ	一ヶ月間靜養セルモ特ニ變ナシ	三四週間ニテ良好トナレル	生存	生存	生存	生存	生存	同様	快方ニ向ヒ生存ス	生存	健	健
—	—	十	十?	—	—	—	—	—	—	十	—	—
—	—	—	—	—	—	—	—	粘液ノミ	—	—	—	動物試驗
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

姓	職名	年齢	既往症及一般状態	肺ノ状態	咯痰ノ性状	發熱	轉機	咯痰中	尿中
豐、 悉皆家族	ミ	四七	體格、榮養中等ナルモ少シク蒼白、十年前肋膜炎ニ罹リ又インフルエンザ性肺炎ニ罹リ四五日前ヨリ感冒ノ氣味ニテ咳嗽咯痰アリ	左肺尖ニ水泡音及右後下ニ摩擦音アリ	淡黄汚灰白 色粘稠	三十八度	健	—	—
松、 悉皆	信	二五	體格、榮養中、皮色蒼白、肺尖加答兒ト診斷セララル	右肺尖呼氣延長	帶黄汚灰白 色軟化セル	三十七度	生存	—	—
田、 刺	友	一八	體格、榮養中等、咳嗽咯痰アリ、皮色蒼白	氣管枝炎音アリ	淡黄色	三十七度	生存	—	—
谷、 悉皆家族	ア	二一	生來健、體格榮養長、瘦削セリト云フ	著變ナシ	淡黄色粘稠	三十六度	健	—	—
青、 友	勸	四二	體格大、榮養中、皮色蒼白、三年前肋膜炎ニ罹リ時々感冒ニ罹リ咳嗽アリ	後肋膜炎ノ他著變ナシ	淡黄色粘稠	三十六度	健	—	—
雄、 雜	平	五〇	體格、榮養中、時々不明ノ熱發アリソノ熱發ハ持續ス、皮色蒼白	結核性體質ト他變ナシ	灰白色(少量)	三十六度	生存	—	—
上、 風呂屋女	テ	一九	體格、榮養中、時々感冒ニ罹ル實姉肺結核ニ斃ル	著變ナシ	黄色米粒狀 粘稠痰	三十六度	健	—	—
山、 吳服女	マ	四二	體格中、榮養稍不良、瘦削ス右肩辭アリ、兄弟結核ニ斃ル	右呼氣延長	淡灰白色泡沫樣	三十六度	生存	—	—
遠、 無職女	コ	四〇	數年前肺尖加答兒ニ罹ル、體格中、榮養中ナルモ蒼白	左肺尖呼氣延長	淡灰白色黄色物アリ	三十六度	健	—	—
木、 看護婦	ウ	二〇	時々發熱アリ持續ス、體格、榮養中等	右肺尖ニ呼氣延長アルモ腸惡シ	帶黄灰白色鏡樣	三十八度	健ナラン	—	—
小、 友	半	三八	體格中等、榮養稍不良、蒼白ナリ、二週間前ヨリ感冒ノ氣味ニテ就床ス咳嗽咯痰アリ	左右胸部ニ無數ノ小水泡音アリ	黄白色餅樣	三十八度	治ニ向フ	—	—
井、 巡	彦	二八	體格、榮養長、二十日前ヨリ咳嗽咯痰アリ一度治セシガ再發セリ	左右後部ニ水泡音アリ	灰白色	三十八度	治ニ向フ	—	—
草、 畫工	奧	四五	體格、榮養中等、心悸凡進シ胸内苦悶アリ	左肩胛下部ニ水泡音アリ	灰白色	三十六度	生存	—	—

原著 名取リ結核性咳嗽ノ「ナアツオ」反應ニ就テ

姓	職業	年齢	既往症及一般状態	肺ノ状態	咯痰ノ性状	發熱	轉機	咯痰中	尿中
大、	看看婦	一八	體格、榮養長、顔面潮江ス、 一、二ヶ月前ヨリ午後發熱ア リ、咳嗽略痰アリ	著變ナキモ右 肺尖少シク硬	膿樣帶黃色	三十七度 四分(午後)	現ニ同様	+	-
渡、	無職女	三三	三年前肋膜炎ニ罹リ左肺尖ニ 疲勞シ易シ、兄結核ニ覺ル	左肺尖部ニ水 泡音ヲ聽クコ トアリ	膿樣淡黃色	三十六度 八分	現ニ異常ナ シト云フ	+	-
山、	友仙家族	三六	肩癱漸次瘦削ス、體格中、榮 養稍不長	右肺尖呼吸延 長ス	灰白色粘稠	三十七度 三分	變化ナシト 云フ	-	-
小、	悉皆家族	二七	體格、榮養中、腎臓炎ニ罹リ シトアリ、一週間前ヨリ感 冒ニ罹リ咳嗽略痰アリ	左肺尖浸潤? (X線ニテ浸 潤アリト云フ)	膿樣ニテ灰 白色	三十七度 三分	著變ナシ	+	不明
加、	工幸	一九	體格、榮養長、六ヶ月前咯血 少量アリ、感冒ノ氣味アリ	右胸痛アリ摩 擦音様水泡音 ヲ聽ク	帶黃灰白粘 稠痰	三十八度 三分	變化ナシ健 康ヲ自覺ス トアリ	+	-
小、	無職女	二二	體格、榮養長、心悸九進ニ苦 ム時々發熱ス	右肺尖?他病 院ニテ肺尖加 答兒ト診セラ ル	水様濁濁液 (古シ)	三十七度 六分(午後)	健康ナリト 云フ	+	粘液素
森、	無職女	二二	時々發熱(午後)アリ、體格、 榮養長キ方	右肺尖呼吸延 長	淡黃色	三十七度 四分	同様ナリト 云フ	+	動物試

戊、肺結核第一期

姓	職業	年齢	既往症及一般状態	肺ノ状態	咯痰ノ性状	發熱	轉機	咯痰中	尿中
村、	車夫妻	五二	二ヶ月前ヨリ咳嗽咯痰胸内苦 悶アリ、發熱ス、體格中、榮 養不長蒼白、腎臓炎アリ	左右胸部ニ水 泡音アリ	同	三十八度 二分	快方	-	-
武、	巡查妻	三三	體格、榮養中ナルモ蒼白ナリ 六ヶ月前ヨリ咳嗽略痰アリ	左肺尖呼吸延 長、右後下面 ニ類射音	汚黃色粘稠	三十七度 六分	異常ナシ	+	動物試
中、	悉皆	三六	體格中、榮養稍不長、昨年肋 膜炎ニ罹リ、今回感冒様肥滿	特ニ異常ナシ	汚灰白色痰	三十七度 二分	生存	-	-
森、	浸菊	五一	體格薄弱、榮養長ナラズ、四 五年前ヨリ時々發熱ス	後肋膜炎	膿樣痰	三十七度	生存	+	-
森、	浸菊	五一	體格薄弱、榮養長ナラズ、四 五年前ヨリ時々發熱ス	右肺尖呼吸延 長	泡沫アル膿 樣塊ヲ混ズ ル粘液様	三十九度 三十七度	生存	-	-

原著 桑取 結核性咳嗽ノ「チアツタ」反應ニ就テ

姓名	職業	年齢	既往症及一般状態	肺ノ状態	咳嗽ノ性状	發熱	轉機	咯痰中	尿中
谷、 悉皆家族	ナ	四〇	體格、榮養中、皮色稍蒼白、 數年前ヨリ肩癱アリ、感冒ニ 罹リ易シ	右肺上葉ニ水 濁音ヲ聽キ輕	汚黃色粘稠	無	健	—	—
渡、 下女	コ	一九	體格、榮養稍良、二三ヶ月前 ヨリ咳嗽咯痰アリ全治セズ	左後、肩胛下 部ニ水泡音、 右肺尖呼吸氣延 長、後下部ニ 摩擦音アリ	灰白色(少量)	三十七度 八分	不明	—	—
西、 無職女	マ	二三	體格中、榮養不良、一ヶ月前 ヨリ著シク羸瘦ス	右肺尖呼吸氣延 長	澁黃汚灰白	三十六度 八分	良	—	—
小、 醫師	武	二九	體格、榮養中等、一昨年血痰 アリ、咳嗽咯痰羸瘦アリ	(右肺尖カタル 古キモノカ) 混ズル粘稠	灰白色ニシ テ黄色物ヲ	無	良好	—	—
永、 魚商	五	五〇	體格普通、榮養不良、皮色蒼 白、三ヶ月前ヨリ突然發熱シ 咳嗽咯痰アリ、發熱去ラズ	左右肺後面ニ 水泡音及ギ メンチ聽ク (喘息?)	汚灰白色稍 軟化ス	三十八度	時々同發作 アリ	—	—
小、 學童	敬	一三	體格中、榮養稍不良、皮色蒼 白、三ヶ月前ヨリ突然發熱シ 咳嗽咯痰アリ、發熱去ラズ	左肋膜炎ナラ ンカ	灰白色粘稠	三十七度 四分	不明	—	—
伊、 友仙妻	久	三六	體格中、榮養不良、二三ヶ月前 ヨリ羸瘦甚シ、少シク咳嗽 咯痰アリ	特ニ異常ヲ認 メズ	淡黄色唾液	三十七度 四分	不明	—	—
伊、 下女	イ	二〇	體格中等、榮養中等ナルモ皮 色蒼白、昨年肋膜炎ニ罹リ目 下感冒ノ氣味アリ	氣管枝炎音ヲ 聽ク	汚灰白色	三十八度 三分	變化ナシト 云フ	—	—
横、 竹商	八	二八	體格大、榮養中等ナルモ皮色 蒼白ナリ、數日前ヨリ血痰ア リ瘦削ス	左肺尖呼吸氣延 長アリ	灰白色粘稠	三十七度 三分	不明	—	—
北、 學生	利	二四	五ヶ月前ヨリ瘦削ス、一ヶ月前 肋膜炎ニ罹リ發熱ス、咳嗽 アルモ痰少ナシ、體格中	左右肋膜炎、 左肺尖浸潤、	灰白色粘液	三十八度 二三分	稍良	—	—
内、 寫眞	幾	二五	體格、榮養中、二週間前ヨリ 咳嗽咯痰アリ、胸痛アリ	右後下部ニ摩 擦音アリ	膿樣、黄色 粘稠	三十八度 二分	全治セリト 云フ	—	—
中、 事務員	守	二〇	體格、榮養中等、二ヶ月前ヨ リ倦怠不眠、元氣ナシ	右肺尖部呼吸 延長	汚灰白色	三十七度 二分	變化ナシト 云フ	—	—
中、 悉皆	ヨ	三〇	體格、榮養中、著患ナキモ近 來不眠朝起時ノ倦怠	長	黄色物ヲ混 ズル灰白色 粘液樣	三十七度	不明	—	—
姓名	職業	年齢	既往症及一般状態	肺ノ状態	咳嗽ノ性状	發熱	轉機	咯痰中	尿中
姓名	職業	年齢	既往症及一般状態	肺ノ状態	咳嗽ノ性状	發熱	轉機	咯痰中	尿中

原著 名取 結核性略痰ノ「ガアツオ」反應ニ就テ

姓 名	職 業	年 齡	既 往 症 及 一 般 狀 態	肺ノ 狀 態	咯 痰ノ 性 狀	發 熱	轉 機	嗜 痰 中	尿 中
川、 無職女		三六	體格、榮養中等、二十歳ノ時肋膜炎ニ罹ル三ヶ月前ヨリ倦怠アリ咳嗽咯痰アリ	一般ニギンメノ尖呼吸延長アリ	黄色物アル粘稠痰	三十七度二分	不明	+	?
三、 下女		三二	體格、榮養中等、十日前ヨリ感冒ノ氣味ニテ咳嗽咯痰アリ、發熱スルモ就床スル迄モナシト云フ時々血痰アリ	右後面、下葉ニ水泡音アリ	混血、黄色痰	三十八度二分	一時恢復セシルモ再發シ胸部ノ所見同上	+	-
淺、 運搬業		四二	體格大、榮養稍不良、七八年前急性肺炎ニ罹リ爾後感冒ニ罹リ易シ咳嗽咯痰發熱アリ治シ難シ	右後下部ニ水泡音ヲ聽ク	灰白色餅狀塊狀痰	三十八度	治療中ナリシガ全治	-	稍+
丸、 車大工		五一	體格中、榮養稍不良、皮色蒼白、右側胸痛氣管枝音ヲ聽ク發病五ヶ月前ニ水泡音無數アリ、	肺尖? 肺結核?	體格汚黄色粘稠ナラズ	三十九度六分(午前十ハ低シト云フ)	死	+	-
青、 刺繡		一七	體格中、榮養稍不良、一週間前ヨリ感冒咳嗽咯痰アリ三週間間ニテモ治セズ	右水泡音アリ	淡黄色	三十七度八分	不明	+	+
川、 悉規皆		四〇	體格、榮養中等、四五年前肋膜炎ニ罹リ爾來感冒ニ罹リ易ク直ニ發熱ス	左肺後下部ニ水泡音アリ	淡汚黄色	最高三十八度五分	發熱ナケレバ常務ス	+	-
宮、 友仙家族		四九	生來健全、體格榮養中等、近來咳嗽咯痰アリ咯血ス	右後面氣管枝音アリ輕濁シ水泡音アリ	血色痰	三十八度	少シク其方ニ向フ	+	-
福、 吳服		二六	體格、榮養中等、一ヶ月前ヨリ感冒アリ發熱ス、二三日前咯血ス	右肺尖カタル及肋膜炎	血痰及黄色	三十八度五分	進行ス	+	+
田、 籠職家族		四一	體格中等、榮養不良蒼白、四五ヶ月前ヨリ咳嗽咯痰アリ咯血ス	左肺結核	米粒狀物アル黄色粘稠	三十七度四分ヨリ三十八度	死	+	+
芝、 製粉家族		五四	體格中、榮養不良、一昨年頃ヨリ咳嗽咯痰癆瘵ス	左右肺結核及腸結核	黄色膿樣痰	三十八度二分	死	+	+
五、 齒工家族		二六	體格、榮養中等ナルモ元氣ナク昨年血痰アリシトアリ、昨今感冒ノ氣味アリ	左肺後面水泡音ヲ聽ク	膿樣痰	三十七度八分	生	+	+

已、肺結核第二、三期

川、 無職女		三六	體格、榮養中等、二十歳ノ時肋膜炎ニ罹ル三ヶ月前ヨリ倦怠アリ咳嗽咯痰アリ	一般ニギンメノ尖呼吸延長アリ	黄色物アル粘稠痰	三十七度二分	不明	+	?
三、 下女		三二	體格、榮養中等、十日前ヨリ感冒ノ氣味ニテ咳嗽咯痰アリ、發熱スルモ就床スル迄モナシト云フ時々血痰アリ	右後面、下葉ニ水泡音アリ	混血、黄色痰	三十八度二分	一時恢復セシルモ再發シ胸部ノ所見同上	+	-
淺、 運搬業		四二	體格大、榮養稍不良、七八年前急性肺炎ニ罹リ爾後感冒ニ罹リ易シ咳嗽咯痰發熱アリ治シ難シ	右後下部ニ水泡音ヲ聽ク	灰白色餅狀塊狀痰	三十八度	治療中ナリシガ全治	-	稍+
丸、 車大工		五一	體格中、榮養稍不良、皮色蒼白、右側胸痛氣管枝音ヲ聽ク發病五ヶ月前ニ水泡音無數アリ、	肺尖? 肺結核?	體格汚黄色粘稠ナラズ	三十九度六分(午前十ハ低シト云フ)	死	+	-
青、 刺繡		一七	體格中、榮養稍不良、一週間前ヨリ感冒咳嗽咯痰アリ三週間間ニテモ治セズ	右水泡音アリ	淡黄色	三十七度八分	不明	+	+

姓名	職業	年齢	既往症及一般状態	肺ノ状態	喀痰ノ性状	發熱	轉機	喀痰中 ゲアツオ 反應	結核菌	尿 中 ゲアツオ 反應	氏反應
湯松	無職男	一七	二三年前ヨリ脊椎カリエス、 瀉瀉ス 又咳嗽喀痰アリ、體格小	左肺結核	汚黄色膿様	三十七度 六分	死	+	+	+	+
太	車夫妻	四六	體格中、榮養不良蒼白、三ヶ月前ヨリ 胸内苦悶咳嗽喀痰アリ	左肺結核	灰白色粘稠	三十八度	漸次瘦削増ス	+	ガフキ一 五 六	+	+
村	官吏妻	二七	體格、榮養中等、三ヶ月前ヨリ 倦怠アリシガ突然咯血ス	左肺上葉輕濁 水泡音アリ	泡沫アル汚 黄色粘稠痰	三十七度 五分	快方ニ向フ	+	ガフキ一 五 六	+	+
藤	小間物	六〇	體格、榮養不良、數年前ヨリ 咳嗽喀痰アリ瀉瀉ス	左肺結核	少許ノ黄色 粘稠物アル水様	三十八度	死	+	ガフキ一 十	+	+
中	教員妻	二六	體格、榮養中等、二三年前肺 尖加答兒ニ罹リ二ヶ月前ヨリ 發熱、咳嗽喀痰アリ	左上葉水泡音 肋膜炎	泡沫水様痰 白色痰(少許)	三十八度 五分	結核性腹膜炎ニテ斃ル	+	+	+	+
井	八百屋家族	五五	體格大、榮養稍不良、二年前ヨリ 咳嗽喀痰、胸内苦悶アリ	右肺結核	帶黄汚灰白 色	三十八度 五分	死	+	ガフキ一 五 六	+	+
川	紐職女	二七	體格榮養中、五六ヶ月前ニ倦 怠アリ、感冒ノ氣味ニテ爾後 遠和去ラズ、時々發熱ス咯血 アリ	右上葉水泡音 輕濁アリ	帶黄灰白色 粘稠	三十七度 五分	轉地シテ快 方ニ向フ	+	ガフキ一 一 二	+	+
五	無職女	二五	體格、榮養中、感冒ノ氣味ニ テ瘦削ス	左右上葉ニ水 泡音アリ輕濁	汚帶黄灰白 色	三十八度 五分	轉地ニテ快 方ニ向フ	+	ガフキ一 一 二	+	+
田	米商	二四	軍隊ニテ胸膜炎ニ罹リ體格 大、榮養中、時々發熱、咳嗽 喀痰アリ	左肋膜炎及肺 尖浸潤	膿様痰	三十七度 三分	生存	+	+	+	+
松	教員	三八	體格大、榮養不良、一年前ヨリ 慢性下痢症ニ罹リ又咳嗽喀 痰アリ	腸結核及左肺 肩胛下部ニ水 泡音アリ	膿様痰	三十八度	死	+	ガフキ一 四	+	+
岡	藝妓	二六	體格小、榮養不良、四五ヶ月前ヨリ 感冒ニ罹リ咳嗽喀痰アリ瀉瀉ス	右胸膜腹膜炎左 胸腹部ニ水泡 音アリ	泡沫様灰白 色(少量)	三十八度	死	+	+	+	+
齊	岩岩 巡查	三七	體格大、榮養良ナルモ稍蒼白 ナリ、一昨年咯血ス、時々感 冒ニ罹ル職ニ従事ス	左肺上葉ニ水 泡音アリ輕濁	膿様痰	三十七度 四分	生	+	ガフキ一 七	+	+
姓	職業	年齢	既往症及一般状態	肺ノ状態	喀痰ノ性状	發熱	轉機	ゲアツオ 反應	結核菌	尿 中 ゲアツオ 反應	氏反應

高、 畫工	山、 魚庄商	芝、 女學生	加、 大安工	大、 友仙妻	谷、 無職女	金、 通勤妻	石、 無職男	今、 無職男	桂、 教員	村、 工夫妻	泉、 教員女	永、 無職男
三二	五一	一五	二〇	三五	二三	三一	六二	六九	二九	二七	三〇	二五
前一年前ヨリ咳嗽喀痰、發熱アリ	體格中、榮養不長、蒼白 四回アリ、稍快方ニ向フ	體格、榮養年齢ニ適ス 二三ヶ月前ヨリ發熱頭痛アリ	體格小、榮養稍不長、二ヶ月 前ヨリ咳嗽喀痰發熱アリ	體格中、榮養中ナルモ瘦削ス 三年前ヨリ咳嗽喀痰發熱アリ テ一張一退ス	體格、榮養中皮色蒼白ナリ、 一年前肋膜炎ニ罹リタリ爾後 發熱咳嗽、胸痛脊柱痛アリ	體格中、榮養不長瘦削ス、一 年前ヨリ肺尖加答兒ニ罹リ發 熱アリ漸次瘦削ス	體格中、榮養不長、數年前ヨ リ咳嗽喀痰ニ苦ム	體格中、榮養不長、數ヶ月前 ヨリ咳嗽喀痰アリ、胸内苦悶 倦怠甚シ	體格中、蒼白瘦削ス、全快セズ シク良好ナリシモ全快セズ	體格中、榮養不長、三ヶ月前 ヨリ咳嗽喀痰アリ下痢ス	體格、榮養中等、四五年前肺 尖加答兒及肋膜炎ニ罹ル爾後 毎日發熱アリ、時トシテハ高 熱ニ昇ルコトアリ	體格大、榮養長、五年前嚔血 シ發熱アリ、爾來二三回モ嚔 血ニ發熱去ラズ尙脊椎カリエ スニ罹リタルモ一年前ヨリ 發熱去リ殆ンド外見上健康ニ 復ス
右肺結核	右肺結核	左上葉	右上葉	左肺結核	右肺尖加答兒 右肋膜炎、脊 柱カリエス?	右肺結核	右肺後下部ニ 水泡音アリ 空洞ノ在ル感 アリ	左右肺全部ニ 水泡音アリ	左下葉結核	腸間肺結核及	右後面ニ水泡 音ヲ聽ク	左肺後面ニハ 尚水泡音氣管 枝音ヲ聽ク、 右前下部ニモ 水泡音ヲ聽ク コトアリ
汚黄色膿樣 塊狀	黄灰白色膿 樣個々塊狀	淡黄膿樣痰	汚灰白色錢 樣痰	淡黄色米粒 狀物アル痰	灰白粘稠ニ シテ惡臭アリ	泡沫アル粘 液中ニ汚淡 黄色物アリ	粘稠 帶黄灰白色	泡沫アル黄 色粘稠	淡黄色	狀物アル米粒 狀痰	汚灰白黄色	汚帶黄灰白 色粘稠
三十八度	無	三十八度 時々	三十八度 五分	三十七度 五分	三十七度 五分	三十九度	三十八度 三分	三十九度 一分	三十八度	三十八度 五分	三十七度 三分	三十六度 八分
生存	快方	稍快方?	不明	好胸部所見長	全治セズ	死亡モリ	死	死	云快方ナリト	死	生存	健康ヲ自覺ス
稍十	十	十	十	十	十	十	稍十	十	十	十	十	十
ガフキ一十	ガフキ一四	ガフキ一七 ガフキ一八	ガフキ一八	ガフキ一四 ガフキ一五	一	ガフキ一七	一	一	ガフキ一八 ガフキ一九	ガフキ一八	一	ガフキ一 ガフキ一二
十	十	一	十	一	一	十	一	十	一	十	一	一
十	十	一	十	稍十	一	十	一	十	一	十	一	一

原、著 名取、結核性嚔痰ノ「ヤアツキ」反應ニ就テ

姓名職業	年齢	既往症及一般状態	肺ノ状態	喀痰ノ性状	發熱	轉機	喀痰中 デアツオ 結核菌 ガ反應	尿 デアツオ ワイス ガ反應
松、 工 マ 二〇 女	二〇	體格中、榮養不具羸瘦ス 五ヶ月前ヨリ咳嗽喀痰、發熱 食慾不振アリ	右後面一般ニ 水泡音氣管枝 音ヲ聽キ輕濁 ス	汚黄色膿樣	三十八度	生存	十	十
三、 女 中 キ 二二	二二	體格中、榮養良、二週間前ヨ リ感冒ノ氣味アリ咳嗽喀痰血 痰アリ	右後肩胛骨下 部ヨリ水泡音 數多ヲ聽ク	黄色及混血 痰	三十八度 六分	靜養中不詳	稍十	一

右表中體温ハ患者檢痰檢尿日ノ最高温度又ハ檢査前後ニ檢温セルモノヲ記入シタルモノナリ。

轉機ハ余ノ知り得タル範圍ニテ記入シ生存トハ快方ニ向フモ確ニ疾病ノ治癒シタルモノナルカ將タ一時的ノモノナルカ不明ナルモ兎ニ角一時快方ニ向ヒタルモノナリ。

實驗例ハ殆ド余ノ治療中ノ患者ニシテ體實、周圍ノ狀況等略々明ナルモノナリ、轉機等ハ從ヒテ比較的明瞭ナリ得ルト雖、實際上尙時日ヲ經ルニアラザレバ不明ノモノ多シ。

急性肺炎患者十一名中喀痰ニ「デアツオ」反應ヲ呈セシモノ七人、呈セザルモノ四人アリ。中主トシテ喀痰少量ニシテ該反應ヲ呈セザルヤニ思考スルモノ多シ、故ニ急性肺炎ノ喀痰中ニハ多ク「デアツオ」反應ヲ呈スルモノトシテ可ナリ。

尿中「デアツオ」反應ヲ呈セザルモノハ、十一名中一名ニシテ一名不檢、一名ハ僅ニ反應シタルモノナリ、故ニ大抵ハ尿中「デアツオ」反應アリ、尿中ノワイス氏反應ハ「デアツオ」反應ト殆ド相一致スルモ「デアツオ」反應ヨリ鋭敏ナリ。喀痰中ノ「デアツオ」反應ハ體温ニ關係セズ、又鑷色痰タリト否トニ不拘陽性ナリ、即チ喀痰ノ濃厚ナルモノニハ陽性ナリ。

尿中ノ「デアツオ」反應ハ體温ニ一致シ分利後ノ尿ニハ發現セズ。

氣管枝加答兒(急性或ハ慢性)ト診斷シタル患者二十二名中喀痰中ニ「デアツオ」反應ヲ呈セルハ六名ナリ。而シテ六

名ハ多クハ慢性氣管枝加答兒ニシテ或ハ結核性患者ニアラザルナキヤヲ疑ハシムルモノニシテ臨床上結核症ノ潜在ヲ疑ハシムルモノナリ。然レドモ結核菌ヲ證明シ得ザルヲ以テ之ヲ斷定スル能ハズ、其後ノ觀察ニ於テモ、結核ノ疑ヒ去ラズ常ニ同症ヲ反覆シ居ルヲ認ム。

他ノ陰性患者ニアリテハ、多クハ二—三日乃至一—二週間ニシテ恢復シタルヲ認ム、而シテ喀痰ハ稀釋ナリ。

陽性患者ノ喀痰ハ濃厚ナリ、而シテ陽性患者中、喀痰検査ガ採集後數時間ヲ經タルモノアリ。尿中ニハ「デアツオ」ワイス氏反應ハ陰性ナリ、中一名、ワイス氏反應ヲ見タルモ喀痰中ニハ「デアツオ」反應ナク、二週間位ニシテ快方ニ向ヒタリ。

喘息患者八人中、喀痰、尿共ニ陰性ヲ呈セリ、其他感冒ニテ咽頭加答兒アリ、恢復期ノ濃厚痰ニ陽性ヲ呈シ又麻疹患者ノ喀痰ニ陽性反應ヲ呈シタルモ健康者ノ喀痰、鼻汁、心臟病性喀痰、百日咳及ソノ肺炎、扁桃腺炎、喉頭加答兒等ニハ陰性ナリ。

尿中ニモ陰性ナリ、麻疹患者尿中兩反應陽性ナリ。

肺結核疑似症、體格及一般狀態ヨリシテ結核性ニアラザルナキヲ疑ハシムルモノ既往症ニ於テ肺炎加答兒又ハ肋膜炎ヲ經過シタルモノニテ、身體違和アルモノ、及患者自身結核症ニアラザルヤ否ノ診斷ヲ乞ヒタルモノ等ヲ總括シタルモノナリ。

右疑似症患者三十五名中、八名ハ喀痰中「デアツオ」反應陽性ヲ呈シ中三名ハ反應疑問ニシテ二十四名ハ陰性ヲ呈ス。結核菌ハ悉ク陰性ナリキ、尿中「デアツオ」反應、ワイス氏反應亦陰性ナリ。

陰性ヲ呈スル患者、二十七名中胸部ニ理學的症候ヲ多少ニ拘ハラズ認メタル患者ハ十三名所見ナキモノ十四名アリ、又發熱有ルモノ十三名、發熱ナキモノ十四名ニシテ其後ノ經過ハ良好トナリシモノ二十五名、不良ナリシモノ一名、不明ノモノ一名アリ。

陽性ヲ呈シタル患者八名中、胸部ニ理學的症候ヲ有スルモノ八名、熱發セルモノ七名、發熱ナキモノ一名ニシテ其後經過ハ八名共ニ特ニ變化ナシト言フ。故ニ喀痰中「デアツオ」反應陽性ノモノニハ殆ド胸部ノ所見又ハ發熱アリト言フベシ。

陰性患者中胸部理學的症候及發熱ノ有無ハ十三名ニ對シ十四名ナリトセバ其數相半スルヲ見ル。若シ胸部所見或ハ發熱ガ結核性ナリトセバエミユリユ氏ニ從ヘバ陽性タラザルベカラズ。然レドモ喀痰中結核菌ヲ證明シ得ズ。之ヲ結核症ト斷定シ得ズト雖、實地上理學的症候アル十三名中ニハ結核症ト診斷シ得ベキモノアリ。然レドモ檢査材料タル喀痰ノ少量ナリシ爲或ハ陰性ニ終リタルモノモアリ得ベシト考ヘラル。

陽性患者ノ悉クガ理學的症候アリ又殆ド發熱アリシトセバ、喀痰中結核菌陰性ナリトスルモ結核性喀痰ナリト診斷シテ可ナル様思ハル、モ右患者中心臟衰弱ニヨリ喀痰ノアリシモノニテ其後全ク健康ニ復セルモノアリ。又喀痰ノ多少古キガ爲ニ陽性反應ヲ呈シタルニアラザルナキヤノ疑ヒアルモノアリ。且況ンヤ肺結核疑似位ト診斷シ得ラル、患者ニテ半ケ年位ノ經過ニ於テ良好ナリシト雖、果シテソノ結核、非結核ナルコトヲ診斷スルニ困難ナルニ於テオヤ。到底喀痰中ノ「デアツオ」反應ノミニテハ斷定スル能ハザルモノ、如ク思考セララル。

疑似症中ノモノハ尿中「デアツオ」及ワイス氏反應悉ク陰性ナリ。

更ニ第一期即チ確ニ臨床上肺結核ノ早期ト診斷シ得ラル。患者二十五名ヲ見ルニ喀痰中「デアツオ」反應ヲ呈スルモノ十八名、陰性ナルモノ七名アリ。而シテ結核菌ハ悉ク陰性ニシテ只一名動物試驗ニヨリテ、陽性ナルヲ認メラレタルノミナリ。

尿中「デアツオ」反應陽性二名、ワイス氏反應陽性四名アリ。喀痰中及尿中ニ「デアツオ」反應共ニ陽性ナルモノ二名ニシテ他ハ尿中「デアツオ」反應或ハワイス氏反應アルモ、喀痰中ニハ陰性ナリ。

喀痰中「デアツオ」反應陽性患者十八名中胸部理學的症候アル者十七名、無キモノ一名、發熱ハ十八名悉ク有リ。其後

ノ經過快方ナル者五名、依然同様ナルモノ七名、不明五名、死亡一名アリ。

陰性患者七名中胸部理學的症候アル者六名、無キ者一名、發熱アル者五名、無キ者二名、其後經過快方ノ者四名、同様ノ者二名、不明一名アリ。

而シテ陽性患者中ニテ其後身體著シク肥滿シ快方ニ向ヒタル者アリ、又喀痰ノ古キ爲生ジタルニアラザルナキヲ疑フモノ等アリ。又陰性患者ニテ臨床上明ニ結核性ト断定セザルベカラザルモノアリ。併シ其多クハ喀痰ノ少量ナリシ爲ナルヤヲ疑フベキモノアリ。從ツテ第一期ト思考セラレ得ベキ患者ニ於テモ悉ク喀痰中「チアツオ」反應陽性ナリト言ヒ難シ。然レドモ第一期中ノモノ、多クハ陽性反應ヲ呈スルヲ認メ得タリ。

壬、第二期、第三期、肺結核ノ進行シ又其他身體的、其他一般狀態ニテ

髓ニ結核症ト認ムベキ患者

右患者三十三名中、喀痰中「チアツオ」反應陽性二十八名、陰性四名、疑問一名アリ、而シテ結核菌陽性二十一名ナリ。尿中「チアツオ」反應陽性十二名ワイス氏反應陽性十六名アリ。而シテ喀痰中反應陰性ナルモノ、中喀痰少量ナリシモノアリ又如何ニ再檢スルモ陰性ト言ハザル可カラザルモノ二名アリ。

而シテ此期ノ患者中ニハ身體的症候及熱ナキモノハナク只陽性及陰性ニテ其後ノ經過ヲ見ルニ陽性患者中快方ニ向ヒタルモノ七名、然ラザルモノ十名、不良ニ終リタルモノ十一名、陰性患者中快方ニ向ヒタルモノ一名變化ナキモノ二名、不良ナルモノ二名アリ。

故ニ第二期、第三期ニ於テ明ニ結核患者ナルニ關ハラズ喀痰中「チアツオ」反應ナキコトアリ又本期ノ患者ニ就テハ再三検査シ常ニ陽性ナルコトアルモ又陰性ナルコトアリ陽性ナルコトアリ。本表ニハ陽性トアルハ陰性ナリシモ後ニ陽性トナリタルモノハ陽性トナシタリ。

故ニ第二、第三期ノ結核患者ノ喀痰中ニハ、多ク「チアツオ」反應ヲ呈ス、而シテ該反應ハ體温ニ關係セズ、又尿中

原著 名取リ結核性喀痰ノ「デアツオ」反應ニ就テ

ノ該反應ニ關係ナシ。

各期ヲ通ジテ喀痰ハ濃厚ナルモノニ陽性ニシテ稀薄ナルモノニ反應ナシ。今疾病ト喀痰中ノ「デアツオ」反應トヲ表別スレバ、

病名	患者數	喀痰中デアツオ反應		病名	患者數	喀痰中デアツオ反應	
		「デアツオ」反應	「デアツオ」反應			「デアツオ」反應	「デアツオ」反應
急性肺炎	一一	七	九	肺結核疑似	三五	八	〇
喘息	八	〇	〇	第一期	二五	一八	二
急管枝加答兒	二二	六	〇	第二、三期	三三	二八	一六

喀痰中「デアツオ」反應ト理學的症候ノ有無ヲ表別スレバ

喀痰中「デアツオ」反應陽性ノモノ

喀痰中「デアツオ」反應陰性ノモノ

患者數	結核菌		理學的症候		發熱		轉機		肺結核疑似	第一期	第二、三期
	有	無	有	無	有	無	良	不良			
八	ナシ	八	〇	七	一	八	〇	〇	八	一八	二八
一	一	一八	〇	〇	〇	〇	〇	〇	六	一八	一九
一	一	二八	〇	〇	〇	〇	〇	〇	七	二八	二八
〇	〇	二八	〇	〇	〇	〇	〇	〇	五	二八	二八
〇	〇	二八	〇	〇	〇	〇	〇	〇	八	二八	二八
〇	〇	二八	〇	〇	〇	〇	〇	〇	〇	二八	二八

患者數	結核菌		理學的症候		發熱		轉機		肺結核疑似	第一期	第二、三期
	有	無	有	無	有	無	良	不良			
二七	〇	一三	一四	一三	一四	一三	二五	一	二七	七	五
〇	〇	一三	一四	一三	一四	一三	二五	一	一	〇	二
〇	〇	一三	一四	一三	一四	一三	二五	一	二	〇	二
〇	〇	一三	一四	一三	一四	一三	二五	一	四	〇	一
〇	〇	一三	一四	一三	一四	一三	二五	一	二	〇	一
〇	〇	一三	一四	一三	一四	一三	二五	一	二	〇	一
〇	〇	一三	一四	一三	一四	一三	二五	一	二	〇	一

右表ニヨリ結核菌ヲ證明セラレザルモ「チアツオ」反應ノ陽性ナルコトハ明ナルモ、結核菌ヲ證明シタル場合モ「チアツオ」反應ノ陰性ナルコトアルヲ見ル。喀痰中ノ「チアツオ」反應ハ理學的症候ノアルトキニ發現シ、ナキ場合ニハ該反應ヲ呈セズ。

喀痰中ノ「チアツオ」反應ハ多ク結核性喀痰ニ發現スルモ又純結核痰ニ發現セザルコトアリ、而シテソノ陽性率ハ重症者ニ多シ。

然レドモ余ノ實驗中、慢性氣管枝加答兒及心臟衰弱性喀痰ニ該反應陰性ニシテ、ヨク結核、非結核ヲ區別シタリシコトアリ、又早期ニ於テ該反應陽性ニシテ遂ニ漸次進行シテ、全ク結核症ト言ハザル可カラザルニ至リシ例アリト雖、該反應ニヨリ、絶對的ニ區別スルコト能ハザルベシ。

四、喀痰ノ「チアツオ」反應ハ喀痰ノ蛋白反應ニ一致セザルヤ

喀痰中ノ「チアツオ」反應ト尿中ノ該反應トヲ比較スルニ、尿中ニテ陽性反應ヲ呈スルハ全液赤色ヲ呈シ、且泡沫ノ赤色ヲ呈スルヲ特徴トシ、且又暗綠色ノ沈降アルニ因リ、明ニ陽性ナリト雖、喀痰中ニテ之ヲ行フトキハ、其赤色ハ全液ノミニシテ、泡沫ニ赤色ヲ呈スルハ極メテ罕ナリ、又沈降モ暗綠色ヲ呈スルコトナク又尿中ノ發現ト毫モ一致セザル等ヨリ見レバ、尿中ノ「チアツオ」反應ト喀痰中ノ該反應トハ或ハ全ク原因ヲ異ニスルニアラザルナキヤヲ疑ハシム。殊ニ「チアツオ」反應ハ喀痰ノ濃厚ナルヲ要シ、即チ喀痰ノ性状、汚黃色乃至膿様ナルモノニ發現シ、稀釋ナル「ムチン」様或ハ灰白色等ノ喀痰ニ陰性ニシテ即チ喘息患者ニ陰性ニシテ、急性肺炎等ノ如キ肺ニ炎症機轉ヲ存スル場合ニ又咽頭加答兒、鼻加答兒等ニテソノ恢復期ノ分泌物濃厚ナル場合ニ現ハル、ヨリ見レバ、喀痰ノ蛋白反應ト一致スルモノニアラザルヤヲ疑ハシム。

ガンツ及ヘルツ⁽²⁰⁾氏モ蛋白反應ハ喀痰ノ粘液様ニ陰性ニシテ膿様ノモノニハ常ニ陽性ナリト言フニ一致スルヲ見ル。

原著 名取リ結核性喀痰ノ「デアツオ」反應ニ就テ

殊ニグロッドマン氏ガ蛋白反應ハ結核患者ニアリテモ現ハル、時ト、現ハレザル時ト有リト言ヒシガ如ク「デアツオ」反應モ純結核性喀痰ニアリテ陰性ヲ呈スルヲ見、卵白ニテ該反應ヲ認メ、膿汁ニテモ該反應ヲ呈スルヲ見レバ益々ソノ蛋白反應ニ一致スルナキヲ疑ハシムルニ至ル。

故ニ今此處ニ、結核性、非結核性ノ喀痰ニ就テ「デアツオ」反應ヲ檢スルト同時ニ、ソレト同一痰ヲ以テ蛋白反應ヲ檢シテ、比較セントセリ。

蛋白反應ハ二三%ノ醋酸液ヲ喀痰ニ二三倍量加へ、ヨク振盪シ之ヲ濾過シ濾液ノ濁濁セバ更ニ同醋酸液ヲ加へ、濾過シ、濾液ノ清淨セルモノニテ煮沸試驗「フエロチアン加里法及「ズルホサル」フエロチアンカリ法

姓名	年齢	既往及一般状態	病名	喀痰		蛋白反應	
				性状	デアツオ反應	煮沸法	ズルホサルフエロチアンカリ法
源、小	六七	體格、榮養稍不長、十年前ヨリ時々咳嗽發作ニ苦ム	喘息	灰白色粘稠	+	-	-
那、正	三九	體格、榮養良、著患ナシ	慢性咽頭炎	硝子様物中ニ淡灰白色物	-	-	蛋白光色
柿、源	四八	生來健全、二ヶ月前ヨリ感冒ニ罹リ咳嗽喀痰ニ苦ム、三十七度四分	右肺炎加答兒(脊椎カリエス?)	汚淡黄灰白色	+	+	+
高、庄	三二	體格、榮養不長、半年前ヨリ發熱咳嗽喀痰アリ、三十八度二分	左右肺結核症	汚淡黄色純膿様	+	-	+
柴、文	二二	體格、榮養中、二三ヶ月前ヨリ感冒ニ罹リ咳嗽アリト云フ、發熱ナシ	變化ナシ	灰白色	-	-	-
山、つ	四二	生來健全、體格榮養良、四五日前ヨリ咳嗽喀痰胸痛發熱アリ、四十度ニ上昇シ全身倦怠甚シ	インフルエンザ肺炎	汚灰白色崩解セル様痰	+	-	+
神、タ	六三	體格、榮養中、數年前ヨリ咳嗽喀痰ニ苦ム	慢性氣管枝加答兒	帶黄色痰及水様物	-	-	-

山、 春	二〇	體格、榮養中等、幼時ヨリ咳嗽喘痰アリ、二三日前ヨリ感冒ニ罹リ咽頭痛アリ	慢性氣管枝加答兒(結核菌陰性)	汚帶黃灰白色 輕化セルモノ	+	痕跡	+	+
安、 キ	一三	體格、榮養不長、三ヶ月前ヨリ發熱咳嗽喘痰アリ、三十九度	(左右肺結核(痔瘻))	水様痰ニテ汚灰白色塊狀ノ沈降物	+	—	+	+
木、 ヒ	四一	體格、榮養中、胃痛ニ苦ム、朝起時咳嗽喘痰アリ	慢性氣管枝加答兒	汚帶黃灰白色 粘稠	+	—	僅ニ	僅ニ
永、 正	二六	體格、榮養長、四五年前ヨリ肺結核症ニ罹リ漸次快方ニ向ヒツ、アルモノ	左肺結核症 右肋膜炎	汚帶黃灰白色 膿様	+	—	—	—

以上數例ニ過ギザルモ明ニ「デアツオ」反應ヲ呈スル喀痰中ニハ、蛋白反應ヲ認メ、陰性ノモノニアリテハ蛋白反應又陰性ナルヲ認メ得可シ、故ニ余ハ喀痰中ノ「デアツオ」反應ハ蛋白反應ト相一致シ、喀痰中ニ蛋白アル場合ニ發現スルモノナリト思考ス。

前述セル如ク、蛋白反應ハ結核早期診斷上或ハ定性的ニ或ハ定量的ニ實地家ノ試ム可キモノナリトセルゲルデルブローム⁽⁴⁾、プロロク⁽²¹⁾、ローゲール⁽²²⁾、レビファレンヂー⁽²³⁾、ビルナチー⁽⁴⁾、ホムベルゼンゲンセン⁽²⁴⁾、岡本氏其他諸氏アリト雖、初メヨリグードマン氏ハ又ロツクウード⁽²⁵⁾氏、アクスナーヂイ⁽²⁶⁾氏等ハ診斷上價値ナキモノトシテ、ソノ検査ハ全ク徒勞ニ過ギザルコトヲ知り得タリトスルモ、「デアツオ」反應ハ比較的簡單ニシテ、蛋白反應ガ一時盛ンニ研究セラレ又實驗上大ニ價値アリシ例證ノアリタルヨリスレバ、「デアツオ」反應モ臨床上早期診斷ノ補助法トナシ得ベシト思考セラル。

五、總括

一、喀痰中ノ「デアツオ」反應ヲ檢スルニハ、エーデルリヒ氏第一液(ズルハアニール酸五〇、鹽酸五〇〇、蒸餾水一〇〇〇)ノ五〇〇立方仙迷ト、第二液(亞硝酸曹達〇五或ハ五〇、蒸餾水一〇〇〇)ノ一〇立方仙迷トヲ混ジ豫メ

稀釋セル喀痰ノ量ト、同量ニ之ヲ混和シ(之ノ混和液ハ振盪ス可カラズ)「アンモニヤ」水五乃至十滴ヲ添加シ、振盪シ檢ス(喀痰液ハ喀痰稀薄ナレバ稀釋セズ、濃厚ナレバ水ト等分或ハヨリ濃厚ニ稀釋ス可シ、喀痰ノ全量ハ二〇—五瓦ヲ適當トス、喀痰液ハ普通試験管ノ十分ノ一量位ヲ要ス)。

五%ノ第二液ニアリテハ、陽性ヲ呈セバ、全液赤色又ハ赤色調ヲ表ハス。而シテ反射光線、透過光線共ニ赤色ナリ、陰性ニアリテハ所謂橙黃色、或ハ深黃色、帶褐黃色ヲ呈シ、赤色調アルコトアルモ、透過光線ニ黃色調アリ〇五%ノ第二液ニアリテハ、陽性ヲ呈セバ、赤色調或ハ深黃色乃至飴色ナルモ陰性ニテハ美黃色ヲ呈ス。

實地上亞硝酸曹達液ハ五%ノ方赤色明ナリ。

二、膿汁及腐敗セル卵白及喀痰ニハ陽性ヲ呈ス。

三、肺炎痰ハ多ク陽性ヲ呈シ、氣管枝加答兒ニハ陰性多ク、喘息痰亦陰性ナリ。

四、結核性喀痰ノ多クハ、陽性反應ヲ呈ス、純結核性喀痰ニ陰性ノコトアリ。

五、喀痰中結核菌ヲ證明セザルモ、陽性ヲ呈シ結核菌陽性ニテモ陰性ノコトアリ。

六、理學的症候ナクシテ、該反應陽性ヲ呈スルモノ無カリキ、病的機轉ノ進ムニ從ヒテ、陽性多シ。

七、濃厚ナル喀痰ニハ多ク陽性ニシテ、稀薄ナルモノニハ多ク陰性ナリ。

八、發熱ト尿中ノ「チアツオ」反應ニ就テハ一定ノ關係ナシ。

九、喀痰中ノ蛋白反應ト一致スルモノ、如シ。

故ニ喀痰中ノ「チアツオ」反應ハ、エミユリユ氏ノ曰ヘル如ク、結核菌陰性ノ喀痰ニハ陽性ナルモ、理學的症候ナキ、早期ノモノニハ陽性ナラズ。又理學的症候アリ臨床上結核性ナルベシト思考セラル、モノニシテ或ハ喀痰少量ナル爲カ、陰性ナルコトアリ。而シテ該反應ハ喀痰ノ蛋白反應ニ一致スルトセバ、蛋白反應ハ操作稍複雑ナルニ反シ、操作簡單ナレバ、蛋白反應ニ代ヘ肺結核早期診斷上、ソノ補助法トナシ得ベシ。

本試験ハ京都帝國大學醫學部法醫教室ニテ行フ。

六、文 獻

- 1) **Wanner, Fr.**, Beiträge zur Chemie des Sputums. *Deut. Arch. f. Klin. Med.* Bd. 75, S. 347, 1903.
- 2) **Falk, u. Tedesko**, Neue Untersuchungen zur Sputumdiagnose. *Wien. Klin. Wochschr.* 22. Jahrg. Nr. 27, S. 954, 1909.
- 3) **Wolff-Eisner**, Die zytodiagnostische Untersuchung des Sputums als mittel zur Frühdiagnose der Lungentuberkulose. *Deut. med. Wochschr.* 33. Jahrg. Nr. 48, S. 2018, 1907.
- 4) **Gelderblom**, Ueber den Eiweißgehalt im Sputum Tuberkulöser. *Deut. med. Wochenschr.* Nr. 41, S. 1987, 1913.
- 5) **Ritter, J.**, Albumin Analysis of sputum. *Journal of American med. Association.* Vol. 60, Nr. 19, P. 1493, 1913.
- 6) **Goodman**, The diagnostic importance of albumin and albumose in sputum and their relation to occult blood. *Arch. of int. med.* 1911 (*zit. n. Zeitschr. f. Tuberkulose*, Bd. 20, S. 764, 1913).
- 7) **和田利一**、霧森中ノ凝固蛋白質ノ肺結核診斷上ニシテノ關係ニ關スル研究ニ就テ、東京醫學雜誌、第一九一九號、大正四年。
- 8) **Zickgraf**, Beitrag zur Morphologie des tuberkulösen Sputums. *Zeitschr. f. Tuberkulose*. Bd. 12, S. 120, 1908.
- 9) **Emilio, B.**, Le diazot reazione nell'escreto tuberculare. *Zit. n. Zeitschr. f. Tuberk.* Bd. 34, S. 130, 1921.
- 10) **Ehrlich**, Ueber eine neue Harnprobe. *Zeitschr. f. Klin. Med.* Bd. V, S. 285, 1882.
- 11) **Neisse**, Ueber die Diazoreaktion und ihre prognostische Bedeutung bei der Lungentuberkulose. *Zeitschr. f. Tuberkulose*, Bd. 15, S. 543, 1910.
- 12) **Weiss, M.**, Ueber Prognosestellung bei Lungentuberkulose. *Med. Klinik* VIII. Jahrg. Nr. 52, S. 2095, 1912.
- 13) **Weiss, M.**, Ueber eine Neue Harnreaktion und ihren Zusammenhang mit der Ehrlichschen Diazoreaktion. *Med. Klinik*, No. 42, S. 1661, 1910.
- 14) **Schnitter**, Der Wert des Urochromogenachweises im Vergleich mit der Ehrlichschen Diazoreaktion. *Zeitschr. f. Tuberkulose*, Bd. 21, S. 234, 1914.
- 15) **岡本健造**、ハヤシチ「ファロノロ」ニ關スル關係ノ研究ニ就テ、醫學新聞、第九〇三號、八〇一頁、大正三年。
- 16) **Sahli, H.**, Klinische Untersuchungs Methoden, Bd. II, 1. Hälfte, 6 Aufl, 1914, Leipzig.
- 17) **Burrian, R.**, Zur Kenntniss der Bindung der Purinbasen im Nucleinsäuremolekül. *Berich. d. D. ehem. Gesellsch.* Bd. 37, I. Hälfte, S. 708, 1904.
- 18) **藤山虎三郎**、ハヤシチ「ファロノ」ニ關スル研究ニ就テ、臺灣醫學會雜誌、第九〇及一〇一號、九七九頁及三三三頁、明治四十三年及四十四年。
- 19) **Petri**, Das Verhalten des Harnschwindschwächer gegen Diazoberzweihäufure. *Zeitschr. Klin. Med.* Bd. 6, S. 474, 1911.
- 20) **Gantz u. Hertz**, Ueber die Eiweißreaktion im sputum und ihre praktische Bedeutung. *Berl. klin. Wochenschr.* Nr. 7, S. 285, 1911.
- 21) **Prorok**, Die Eiweißreaktion im Sputum und ihre Beziehung zur Frühdiagnose der Lungentuberkulose. *Zeitschr. f. Tuberkulose*. Bd. 19, S. 258, 1913.
- 22) **Von Hoesslin, H.**, Das Sputum. 1921. Berlin.
- 23) **Lockwood, C. B.**, Albumin in the sputum as diagnostic aid. *Journ. of Amer. med. Assoc.* Vol. LXIV. No. 7, P. 574, 1915.
- 24) **Acs-Nagy**, Das Sputumweiß und sein praktischer Wert in der Diagnose bei Erkrankungen der Atmungsorgane. *Wien. klin. Wochenschr.* 25. Jahrg. Nr. 48, S. 1904, 1912.
- 25) **藤山虎三郎**、衛生物學雜誌、明治四十五年。